## 2018(H.30)年度 障害者支援施設 あかりの家 事業報告書

2019. 3. 31 現在

#### 2018(H.30)年度 障害者支援施設 あかりの家 実施事業

	事 業 名		事業開始年月日	
1	障害者支援施設あかりの家	施設入所 生活介 護	'86(S.61). 4. 1	県指定
2	短期入所		'86(S.61). 9. 1	県指定
3	地域生活支援事業 日中一時支援事業(日	中短期)	'07(H.19). 4. 1	6市2町?委託事業
4	障害児等療育支援事業	兵庫県	'07(H.19). 4. 1	県委託事業
4	<u> </u>	姫路市	'08(H.20). 4. 1	姫路市委託事業
		高砂市	'13(H.25). 6. 1	高砂市委託事業
⑤	被虐待障害者一時保護支援業務	播磨町	'14(H.26). 4. 1	播磨町委託事業
		稲美町	'17(H.29). 3. 1	稲美町委託事業

<他>①グループホーム「希望山荘日笠」( '02(H.14).10.1)「オリーブの家」('15(H.27).10.1)「友愛の家」 ('17(H.29).4.1)の連携施設

- ②連携施設「友愛の家」('17(H.29).4.1)との一体的な運営
- ③ 附置施設「ひょうご発達障害者支援センター クローバー」('03(H.15)12.1)
- ④わかば学園(加古川)グループホーム連携施設('12(H.24). 2)
- ⑤高砂市福祉避難所の指定に関する協定('14(H.26).11)
- ⑥日本自閉症スペクトラム学会 資格認定実習施設('15(H.27). 1)

### ┃ Ⅰ │ 利用者状況('19年3月31日現在)

### あかりの家利用契約者の分類(あかりの家独自の分類)

	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		27N 7 - 250 AA7
	呼	称	
あかりの家	①入所者		日中は生活介護
所属として			⑥通所
以下のカ	②通所者	<i>生活</i> 介護	⑦ロングショート等は、行政と調整の上、夜はショート、日中は生活介護
ウント対象			で契約。あかりの家に所属。通所者として扱い、保護者会活動に参
			加。
・ 非あかりの	③ショー	人生活介	ショートステイか日中利用者の内、有期療育目的や定期的な日中利用
		10/1	等のケースは、行政と調整し、泊はショート、日中は生活介護などとし
家所属	護		て契約。あかりの家には所属しない
カウント対	<b>④ショー</b> ト	ステイ	泊を伴う
象とせず	⑤日中一時	ŧ	日中のみ

#### 以下のデータは、「あかりの家に所属」の、上記①、②を対象とする

#### 1 定員と現員

定員	現員		
	施設入所	39名(男30、	女9 )
40名	生活介護 (①+②)	48名(男39、女9)	入所者 39 (男30、女9) 通所者 9 (男9、女0) 通所者内訳;自宅から3、GH友愛の家から5、ショート系⑦1

内、入所利用者1名は、あかりの家の「生活介護」に籍を残したまま、日中、WH 高砂の「就労 B」を利用。

生活介護利用者は、48名とあるが、1日当たり40名を超えることはない。

なお、「生活介護」契約者は、他に、ここではカウントしていない「ショート生活介護(③)」6人有り

2 利用者出身地(受給者証発行市町) 2019年3月31日現在

	実施機	利用	者数		利用	者数
	天加機 関	入所者	通储	実施機関	入所	通所
					者	者
	高砂市	4	3	神戸市	9	
ſ	加古川	13	3	日岐士	2	
	市			尼崎市		
	播磨町	3	1	名古屋市	1	
	姫路市	5		枚方市		1
	小野市	1		神河町		1
	加東市	1		合 計	39	9

〈入所〉 入 なし

退 3/24 男1 播磨町(GH友愛の家へ)

〈通所〉 入 3/25 男1 播磨町(GH友愛の家から)

" 退 なし

上の表ではカウントしていない、(あかりに

籍を置かない生活介護契約者(分類の③「ショート生活介護」)

'18年3月末現在、6名 (加古川市、播磨町、姫路市(2)、岡山県、東京都)

### 3 利用者年齢 ( )は、通所者で内書 3月31日現在

年齢	10/t	20)	歲代	30 j	炭代	40	歳代	50扇	<b></b> 後代	60,	歳代	合計
+-一掛巾	~19	~24	~29	~34	~39	~44	~49	~54	~59	~64	~69	$\omega$
男	0	2(2)	2(1)	2(1)	2(2)	5	18(2)	6(1)	2	0	0	39(9)
女	0	0	0 1		0 0		3	4	0	1	0	9
合計	0	2 (2)	3 (1)	2(1)	2(2)	5	21(2)	10(1)	2	1	0	48 (9)
(計)	0 5(3)		4(	(3)	26(2)		12(1)			1	48 (9)	

最年少20歳(前年度比+1)、最年長64歳(前年度比+1)、平均45.3歳(前年度比+1) 入所利用者平均年齢47.3歳(前年度比+0.9)

- 4 障害等の程度 ( )は通所者で内書 3月31日現在
  - (1)知的障害の程度(「療育手帳」の判定による)

	重度(A)	中度(B <sub>1</sub> )	軽度(B2)	合計(人)
男	38 (9)	1	0	39(9)
女	9	0	0	9
計	47(9)	1	0	48(9)
比率	97. 9%	2.1%	0%	100%

#### (2)障害支援区分 平均支援区分 5.8

	区分6	区分5	区分4	区分3	合計(人)
男	31(5)	5(1)	3(3)	0	39(9)
女	5	4	0	0	9
計	36(5)	9(1)	3(2)	0	48(9)
比率	75%	19%	6%	0%	100%

#### (3) 自閉症または自閉的傾向を有する者(入所時の諸書類などをもとに集計)

	男	女	計
人員	37(7)人/39(9)人中	5人/9人中	42(7)人/48(9)人中
比率	94. 9%	55. 6%	87. 5%

#### (4) 重度加算

<sup>&#</sup>x27;18 年度中途で契約し解除した利用者1名(高砂市)

	入原	近	通	所	総計
男	28人	93%	6人	67%	88%
女	8人	89%	_	_	0070

#### (5)その他の障害

		男	女	計	総計
<b>肚 休</b>	手帳所持	0	О	0	4
及14	不所持	1	0	1	1

#### 5 入退所の状況(あかりの家在籍者)

	年度	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03
入	入	38	5	5	4	5	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	О	0
所	退	1	7	2	5	3	1	1	О	0	О	0	0	О	0	0	0	0	0
通	入														11	0	0	1	
所	退														0	0	0	12	
合	入	38	5	5	4	5	2	0	1	0	0	0	0	0	11	0	0	1	0
計	退	1	7	2	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0

	年度	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計
入	入	2	1	1	1	O	2	1	О	2	O	O	О	О	3	О	73
所	退	2	1	2	О	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	34
通	入					1	О	1	О	2	3	O	1	О	4	1	25
所	退					0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	16
合	入	2	1	1	1	1	2	2	0	4	3	0	1	0	6	1	98
計	退	2	1	2	0	1	1	2	1	1	0	1	1	1	3	1	50

#### ※①1986年4月 あかりの家開所'

- ②1999年4月 四郷分場開所、 閉所WH閉所に伴い2003年3月(形式上、分場利用者退所)
- ③2008年4月 新体系に移行し、通所利用者受入れ。
- ④2013年4月より、あかりの家に籍を置く日中を生活介護契約の短期入所利用者等は、通所者として

年	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24~14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	計
男	14	1	2	2	2	2	1	1	0	1	0	2	1	1	1	0	0	2	1	1	0	1	3	0	39
女	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	9
計	16	2	3	2	3	3	1	1	0	1	0	2	1	1	2	0	0	4	1	1	0	1	3	0	48

計上。なお、あかりの家に籍を置かない、日中を生活介護契約のショート利用者(上の表では計上していない)の'18年度末実績は6名。(11の分類参照)

⑤2017年4月 GH友愛の家開所

6 在籍年数 (通所:者を含む。通所から入所等への移行者は通算。4/1 入所は翌年 3/31 で在籍満1年とする)

全利用者平均在所年数22.8年 / 男子平均年数22.6年 / 女子平均年数23.4年 入所者平均在所年数 26.2年 / 入所男平均年数27.0年 / 入所女平均年数23.4年 通所者平均在所年数 7.9年 / 通所女平均年数 - 年

### Ⅱ 生活の概況

1 日課(月~金)

6:30	起床
8:00	朝食
8:30	歯磨き、清掃(引継ぎ)
(9:00)	職員引継ぎ)
10:00	ランニング、お茶・牛乳
10:30	作業
12:00	昼食(一部作業班は外食)
13:30	作業
15:15	ティータイム
15:30	入浴(毎日)・自由時間
17:30	夕食
21:00	就寝

土日祝、ランニングや作業なし 非帰省日の土曜日にはクラブ活動実施 隔週で、週末帰省日設定(希望者)

#### 2 余暇活動

- ①夜の時間帯 絵描き、工作、パズル、雑誌、ドリル等の学習、トモニ100並べ、クロスステッチなど。
- ②担当者による任意の買物や喫茶店行、散髪、作業工賃での自販機やコンビニでの買物、喫茶店行等
- ③ボランティアグループ・秋桜会による「あかり喫茶」(飲み物とケーキ。月1回、第三金曜日中心)
- ④祝祭日や週末など、休日のドライブや散歩及び喫茶店などの外出

#### 3 療育活動

- (1)トモニ活動・・・トモニ活動チーム4人を中心に活動(13年度より実施)
  - トモニ療育研修で、河島先生・高橋先生から教えて頂いたことを日常の中で実践。
  - ①平日課題学習 数字(100並べ、タイル並べ)、時計、お金、本読み、漢字、折り紙、書き取り等 月曜日と木曜日の午後に、マンツーマンでの課題学習を行う。月曜日は一年を通してAさん、Bさん 木曜日は2名の利用者の課題学習を行った。

#### (2)料理活動

従来、トモニ活動の一環として料理活動を実施していたが、今年度は、費用負担等用についてのルールを定め、独立した活動とした。

あかり祭りや忘年会などの行事料理や、バレンタインデーなどのお菓子作り、休日の余暇活動の中での料理作りなどの活動をした。

#### (3) 体操活動

毎水曜日、隔週土曜日 13:30~15:00 に活動。ダイナミックリズム(DR)や模倣運動を中心に実施。 療育的な意味に加え、職員育成、特に新人職員研修を狙っている。現場において集団全体を見る力をつけ る機会としても考えている。目の前で、利用者の変化を実感しやすい活動になっている。

#### 4 クラブ活動

	参 加 者	実施状況	指導者	実 施 内 容
華道	5人	月2回 隔週、土曜 午前1時間	松尾豊華先 生(ボランテ ィア)	92年10月開始。松尾先生(小原流家元)購入の花を先生指導のもと活ける。活けた花は玄関や交流ホーム、クローバー、事務所等に飾る。
音楽	8人 + 随時	月1回 (8月は休み) 土曜 or 日曜 13:30~1 時間	永江きよみ 先生 (ボラ ンティア)	98年10月開始。音楽療法として「音楽の特性を生かして、 心と心を響かせあう。」宮本啓子音楽療法を勉強中の永江先 生が中心になって始まる。ダンス、歌、リズムなど体感する ものや楽器等を通じて表現するものなど幅広い。

ア	・面作りな
---	-------

#### 5 行事関係

#### (1)一般行事(主な行事)

月	行 事 名	月	行 事 名
5	第12回のじぎくスポーツ大会(三木市)		第32回高砂マラソン
6	第30回ばんたん親善運動会(加古川市)	12	第27回ナイスハートバザール(高砂アスパ)
8	第28回あかりまつり		忘年会(保護者参加)
	親子一泊旅行(香川・高知方面)	1	もちつき会
11	加古川ツーデーマーチ		
	第27回ばんたんゆうあい文化祭 (見学)		

※ 親子一泊旅行 日程 10月19日(金)~10月20日(土)

参加者 ;利用者43名(あかりの家39名、友愛の家4名) 保護者34名 職員29名(計、106名参加)

行き先; 香川・高知方面

#### (2) グループ別小旅行「レインボーデイ」

小グループ(原則利用者2に支援員2)に分け、各担当の企画で県内外を日帰り旅行。「療育の成果を生活に返していく」趣旨で、原則公共交通機関(電車、バス)を使用して実施。身体に負担のかかる2人は公用車利用利用。

北野工房のまち、須磨海浜水族園、神戸布引ハーブ園、みとろ荘、神戸どうぶつ王国、神戸メリケンパークオリエンタルホテル道の駅 あいおい白龍城、杵屋(和菓子作り体験)、神戸シーバスクルージング、神戸ポートタワーホテル、フォレストシテーション波賀(バーベキュー)、SPAワールド、フラワールーチェル(フラワーアレンジメント教室)、白雲谷温泉ゆぴか、ネイルサロン、岡部農園(芋ほり体験)、京都競馬場、六甲山牧場、神戸港クルージングカフェファンタジー号、アサヒ飲料明石工場、ハトヤかまぼこ工場、赤穂海の液しおさい市場(牡蠣食べ放題)、銀波荘、NIFREL

#### (3) スポーツ行事

- ①播淡親善運動会 5/25(金) 於、加古川運動公園陸上競技場 6人参加
- ②のじぎくスポーツ大会(5月26日三木市防災総合運動公園陸上競技場)保護者応援・見学 100m走: 0人、走り幅跳び: 0人、フライングディスクアキュラシー(5M): 5人が出場。 フライングディスクアキュラシー(5M) 金メダル1人 銀メダル0人 銅メダル1人
- ③第32回高砂マラソン (12月2日、加古川河川敷マラソンコースにて実施) 5km 3人、1.6km ジョギング 2人 計5人出場
- ④加古川ツーデイマーチ11/11日) 利用者6人参加(4回目参加)

### (4)あかり喫茶

帰省日のない最終金曜日午後、ボランティアグループ秋桜会(3~6人)の応援で、毎月実施。 随時グループで参加し、アサヒ班は午後の作業を早めに切り上げて参加。 写真で飲み物(コーヒーやジュース、コーラ等)を選び、ケーキ類も何種類から選ぶ。

#### 6 設定帰省等

保護者会の希望により、開設時から毎週末2泊3日実施。3年目途中より隔週2泊3日帰省、

- 05年度より隔週1泊2日となる。帰省は希望により自由、期末帰省を更に短くする。
- ①週末帰省(隔週末1泊2日原則) 毎週末帰省2人程度、2泊帰省4人程度、帰省なし11人程度、月1帰省2名
- ②期末帰省(夏季6日間、冬季7日間、春季5日間) 期末帰省なし11人

#### 7 生活環境の整備、備品等の購入設置

- (1) 環境整備;保護者会協力の下、職員、利用者、保護者で年1回(今年度は未実施)
- (2) 備品の購入;なし

### Ⅲ 作業の概況

- 1 作業内容(月曜日午後、火曜日から金曜日の午前午後作業)利用者39名 通所9名 計48名
  - (1) 施設内作業・3月末現在(4作業種35人(通所5人含む))

٠.			
	割り箸班	10人	軽作業棟。割り箸の袋詰め等。(株)マスキー作業提供。
	さをり織 り班	7人	さをり作業棟。さをり糸(一部播州糸、帆布糸)を利用して反物織り。製品化は、 さをり製品化ボランティア「さをりの会」(保護者、隔週実施)や職員による。
	軽作業班	9人	軽作業棟。アース製薬商品の分別、リサイクル作業。(有) ハタリサイクルファクトリー作業提供。
	プラグ班	10人	さをり作業棟で開始。電気部品組み立て。(コンタクト ロックレバー 端子台 受け金ホルダー など)(有)米田製作所作業提供。2013年6月~

(2) 施設外作業・3月末現在(4作業種12人(通所1人含む)+公園清掃(重複))

マスキ班	5人	(株)マスキの工場の一室を借り、割り箸袋詰め等の作業。徒歩または公用車で職員1人引率。夏場は暑さ対策の為、あかりの家内療育室での作業を実施。
旭班	6人	(株) 旭運送プロジェクト事業部内にて、ライン作業の下準備等の作業を行う。 弁当はあかりの家より職員配達していたが、7月より外注弁当を利用。2016年 11月~
WH高砂	1人 1人 重複	WH利用者として、クリーニング作業に従事 1人がバス自力通所(就労継続B型)、1人が週3回グループホームより通所(生活介護)

#### 2 作業班強化

#### (1) 作業班整備

旭班

一昨年度11月より旭班として立ち上げ。(株) 旭運送プロジェクト事業部内にて、ライン作業の下準備の作業を行っている。室内作業による作業環境の改善、作業内容としても箱折り、のし折り、ダイレクトメールの宛名はり、サンプル商品の袋詰めなど多様な作業内容を行っている中、一般企業との連携という意識と強く持ち、ミスなく作業に取り組めるように環境整備や、作業工程の見直しなどを随時行いながら取り組んでいる。

(2) 生産、報酬、消費サイクルの展開

工賃を消費サイクル (労働→報酬→消費) に乗せるための活動。形態は、作業班毎に工夫。(班毎に、あるいは個別に、コーヒーのマグネットをトークン、出来高制、特別ボーナスなど)

(3) 作業班編成(利用者編成)

利用者の高齢化および体調面への配慮、また作業ノルマや作業種別に応じて作業メンバーをその都度変更。体調面への配慮としては、利用者個別判断が必要であり、暑さ、寒さ、アレルギーなどへの配慮を考えつつも、より利用者が意欲的に活動できる作業提供を考え実施している。

※ 日中活動として 48 名の利用者が作業を行っている。加えて短期入所、日中一時支援の利用者を加えると 50 名以上の利用者が活動する状況であり、現状の環境下では各作業場が飽和状態である。

3 福祉バザー、作業製品展示・販売等(昨年度)

4/7	スプリングフェスタ鹿島川 2018		初参加
5/20	まほろばカーニバル	三木光司園	利用者と、さをり織り商品販売。

7·10·3 月	きずな ふれあいマーケット	東播磨県民局	利用者と、さをり織り商品の販売 2018 年度は休会のため不参加
10/23	かぞくねっと兵庫開催 バザー出展	ホテル舞子ビラ	23日、さをり織り商品の販売(職員のみ)
11/10	第 27回みんなの社協フェア	高砂文化会館	さをり織り商品の販売。利用者と参加。
12/9.10	第26回 あかりの家 ナイスハートバザー ル	アスパ高砂	さをり織り商品の販売。利用者の実演とお客さんの体験コーナー設置。パネルによるあかりの家紹介。
11/4 11/10 2/17	公民館まつり	11/4 中央•伊保 11/10 中筋 2/17 北浜	中央公民館長の誘いで初参加。利用者さんの実演、利用者さんとさをり織り商品の販売 ※11/24 曽根公民館、2/23.24 阿弥陀公民館は商品 を置かせてもらい、横道館長さんが販売して下さった。

#### 4 さをり織り委託販売

	場所	開始年月	販売傾向	経過
		日		
ヘアーサロン	姫路市		シュシュ、スト	退職職員が、通っているヘアサロンを紹介。
「采」	呉服町		ール等	姉妹店にも商品を置いて下さっている。現
		2009/9/12		在、売れ行き把握できておらず、商品の補充
				もしていないので、撤退を検討。
				ここ3、4年ほどは商品の設置はない。
高砂ブランド協	高砂市高		ポーチ、キー	主任の個人的な地域活動を通して紹介。高
会「ちちり」	砂町浜田		ホルダー等	砂の文化を発信するアンテナショップ。
	町	2010/2/25		2018 年度、「ちちり」の委託業者が変更となり
				販売手数料もかかるようになったので終了す
				ることになった。

- 5 職場見学等 福祉バザーなどに参加。ナイスハートバザールでは実演もする。
- 6 作業収入と工賃支給

作業収入; 計 1,789,033 円…内、工賃支給; 計 1,090,440 円、軍手、工具等の直接経費 200,719 円 作業工賃基準・・・1 人 21,600 円/年支給。

但し、外勤の旭班は27,600円/年、プラグ作業延長組33,600円/年(作業時間6時間)

**※作業工賃基準→1,800** 円/月 旭班 2,000 円/月

プラグ作業延 1H長組 2,600 円/月 2H長組 2,800 円/月

### Ⅳ 健康管理

1 入通院の状況

	\ <del></del>	H-L-	-	m.L.
科 名	通	院	入	院
	延人数	延日数	件数	延日数
内 科	149	217	0	0
外 科	1	2	0	0
整形外科	4 4	6 5	0	0
歯科	590	6 5 1	0	0
眼 科	9	9	0	0
皮膚科	3 1	4 6	0	0
耳鼻科	3 4	4 0	0	0
精神科	5 6	7 8	0	0
婦人科	0	0	0	0
肛門科	2 7	2 7	0	0
その他	2 9	3 0	0	0
計	970	1165	0	0

**通院**については、月ごとの集計を単純加算。 従って、月をまたいだ通院は二重カウント の形になり「延人数」として表記。

**入院は**、把握可能なため二重カウントはなく、「件数」として表記。

<精神科通院>は、幼少期からの主治医に 保護者によって通院することが原則(嘱 託医の方針)。保護者による通院はカウ ントしていないため、通院数は少ない。

#### 2 常用服薬者

		男	女	計
精神科薬	てんかん	1 7	3	2 0
作用作件作業	安定剤・眠剤等	1 7	6	2 3
内科系薬(整	2 3	8	3 1	
皮膚科系薬(	1 4	3	1 7	
整形外科系薬	1	0	1	
眼科系薬(ア	5	0	5	
延べ総計(2	重カウントあり)	77	20	9 7

内科系では、22人が便秘薬を 服用。

#### 3 健康診断・身体測定等

月	実施 内容	月	実 施 内 容
4	身体測定、歯科(歯石除去、歯磨き指導)	10	身体測定、歯科(歯石除去、歯磨き指導)
5	体重測定、歯科(歯石除去、歯磨き指導)	11	体重測定、歯科(歯石除去、歯磨き指導)
6	体重測定、歯科(歯石除去、歯磨き指導)	12	体重測定、歯科(歯石除去、歯磨き指導)
			健康診断(利用者と変則勤務職員)
7	体重測定、歯科(歯石除去、歯磨き指導)	1	身体測定、歯科(歯石除去、歯磨き指導)
	健康診断(職員)		
8	体重測定、歯科(歯石除去、歯磨き指導)	2	体重測定 歯科 (歯石除去, 歯磨き指導)
9	体重測定、歯科(歯石除去、歯磨き指導)	3	体重測定、歯科(歯石除去, 歯磨き指導)

健康診断;利用者は12月14日にあかりの家にて実施(加古川総合保健センター) 検診科目(身長、体重,腹囲、血圧、尿、胸部レントゲン、採血、心電図、内診)

### 4 ランニング

月〜金、朝の引継ぎ後(作業前)、9時45分頃から10時過ぎ頃まで、準備体操、ランニング、お茶飲み実施。(マスキ班を除く外作業の利用者は不参加)。自立グループ用のコースも継続。 ランニングが負担になる人は、運動場をウォーキング。夏季は、気温が高温になっている為、ランニングは中止、体操のみ実施。また感染症が蔓延している際も終息するまでランニング、体操共に中止。

- 5 ウォーキング班・ダイエット班(1F企画日課) 班活動としては休止。ただ、随時ウォーキングマシンを利用したり、裏山のぼりは継続している。
- 6 整体(健康・医療の方向から)

毎週木曜日、居室にて13:30から1名10分~15分程度、腰痛の人や筋緊張の高い人などを中心に 6人が、永田雄三先生(柔道整復師)にマッサージをしてもらっている。 (VI) 6参照)

#### 7 その他

12/4 インフルエンザ予防接種。保護者の希望をとり、2人を除いて全員が接種、罹患者2人。今年度は、ノロウイルスに感染することはなかった。

### ▼ 支援部・調理部からの年度総括

#### <1Fフロア>

- 1. 利用者
  - ・入所者21名、通所2名の合計23名の利用者所属でスタートした。入所利用1名が2月より友愛の家の体験を経て3月24日にあかりの家を退所し、友愛の家に入所したことで、入所者20名、通所3名になった。
  - ・骨粗鬆症、嚥下や咀嚼、高齢化への、介護的な支援が徐々に必要となってきている。(継続課題)
  - ・保護者が高齢や病気等で帰省が出来ない利用者が増えてきている。

#### 2. 職員

新任を1名迎え、女性9名(1 名は 9 月よりあいあむに移動)、男性4名の 13名で運営した。(プラス パート職 *員3名)* 

バンディオンセ加古川との契約における男性職員 1 名も1F 所属として、月曜のみに日勤帯、火〜金は遅番勤務でフロア支援に取り組んでもらった。(2 月より 2Fに移動)

#### 3. 主な活動内容

#### (1)余暇活動

「食堂のテーブルクロスをクロスステッチで作る」という課題にフロアとして取り組んだ。そのことで、クロスステッチだけでなく、スクラッチアート、刺し子、切り絵、、パズル塗り絵、ペーパービーズなど種類も増えた。出来上がった作品と写真を撮り、それをフロアに飾ることで、その写真をきっかけにして利用者と職員のコミュニケーションが取れ、会話の内容も以前に比べると良い方向に変わっている。あかり喫茶にて作品展を開くことも増えてきている。

#### (2)新任教育

今年度、担当発表の時に取り組んでいく課題も合わせて伝えている。具体的な課題を与えたことで、それ に

向かって考え、取り組んでいったことで、取り組む力をつけることが出来た。

### 4. 総括と来年度に向けた課題

今年度は、スーパーバイザー研修受講者からの虐待レポートを受けて職員が利用者との関りが減っていってしまう事を一番避けなければならないと考え、「食堂のテーブルクロスをクロスステッチで作る」という課題をフロアの課題として取り組むことにした。フロアの課題としたことで、取り組む支援員も増え、それをきっかけにして関り方も変化してきている。しかし、取り組んでいく中での気づきは弱く、それをクリアーしていくための工夫する力も弱いのが現状である。

来年度は、この取り組む力の弱さ、工夫する力の弱さに対して取り組んでいく必要があると考えている。だが、正直どう展開していけばその力がつくのかと悩むところはある。しかし、この力がないと今後大変なことになってくると思うので、私自身、悩みながら取り組んでいきたいと考えている。 (1F フロア長 内田 多美)

#### <2 F フロアー>

- 1. 利用者関係(次年度に向けて)
  - (1)今年度の課題と現在進行形の取り組み等
    - ・Aさん 有期限有目的での通所利用(H29年4月~H30年3月予定)
    - •Bさん 行事前後、月またぎ等に他害や無断外出がある利用者さん。 投薬調整後安定化
    - ・Cさん トモニ療育研修対象者

- ・Dさん 新規入所利用者生活の安定化・通院に向けての取り組み(H30年3月~)
- ・Eさん 歯科検診・ランニング・ショートステイ利用等の課題。新規通所利用者(H29年9月~継続中)
- ・Fさん 投薬調整中(帰省後の大声・パニックの軽減、家族との調整 その後の関わり方)
- ・Gさん 県外の強度行動障害のある利用者の定期的な受け入れ

昨年度からの課題・取り組みが現在進行形である。昨年度からの新規利用者の方それぞれに課題がある。 利用者担当職員を中心にしつつ、フロア全体で取り組んでいく必要性あり。Aさんに関しては2年を目途に受けれいた利用者であり、あかりで培った力を地域に返していく(他施設へ移行する)方向で展開しているが難しい状況である。。Fさんは近年2Fフロアでどういった対応をしていくか悩み続けている利用者であるが、担当者を中心に、家族との調整・投薬調整を行い、安定化の方向に進みつつある。職員も関わりやすくなった部分もあり、今後も継続してフロアとして取り組んでいく必要性がある。

#### (2)利用者にとってどうか?という視点の見直し

本人は今幸せか?本人は今何を考えている?利用者それぞれがどう感じ、どう考え、どう生きているか。一方 向的な関わりに陥っていないか。"双方向"的な関わりを実践できているか。利用者の暮らしや人生を豊かにし ていくための応援をしていく視点をもう一度原点に返って見直してく必要がある。

#### 2. 2018 年度 2Fフロアを振り返って

(1)2Fフロア支援員の働き方はどうだったか?

今年度は「自分達で仕事を作っていく」「虐待問題にどう向き合うか」「職員の育ち」をテーマとしていた。面白い仕事を作っていく事と、虐待の問題を前提に利用者にどう向き合っていくという事が拮抗している部分もあり難しい課題も出てきている。

#### (2)職員の育ち

それぞれの力量は上がっていると感じている。また各自の個性を生かした支援も今後は期待できる。一方で対応が難しい状況になっているケースや、対応困難なショートのケースに対して、チームの支援力が追い付いていない状況もある。

#### 3. 総括と来年度に向けての課題

行動障害の激しい利用者の応援には"支援力"の向上が欠かせないが、それ自体が追い付いていない現状がある。その中で、「座りっぱなしの問題」や「余暇の充実」などの課題に充分に手が回っていない状況でもある。また人員的にも中堅と2年目支援員2名が抜けることになっった。

虐待の課題に向き合いつつ、且つ支援力も維持しつつ進めていかなければいけない。難しい状況であるが、個々の力量アップ、チームとしての動き方、視点を変えたアプローチによる新たな価値観を生み出すなど、今後は多角的に課題に向き合っていく必要性があると感じている。 (2 F フロア長 山口 秀人)

#### <医務室>

#### 1 健康診断(年1回)

再検が必要な利用者には協力医院である井野病院で、血液検査やCT検査、心電図等を受け、結果は必ず保護者に説明している。5人が肝機能障害のため精密検査を受けた。結果はてんかんの薬の影響によるもの。

#### 2 日々の健康観察

丁寧な健康観察は、利用者の体の変化に早く気づき、回復を早める。また、園内感染も最小限に防ぐ。

#### 3 インフルエンザや感染症予防

2名を除いてインフルエンザ予防接種を46人が受けた。高砂市周辺のインフルエンザ情報を参考に、手洗いを徹底し、うがいのできる人にはうがいを実施した。また今年度は、毎日検温を実施し、早期発見に努め2人が感染した。(A型が2人)

感染症発生時のマニュアルを作成し消毒等を徹底した成果があったのか、ノロウイルスの嘔吐、下痢の症状も診ることもなかった。

#### 4 歯科検診

16 年度から毎月、利用者全員にブラッシング指導と歯石の除去をしてもらうことにより歯茎からの出血もなく

なり健康な歯茎になってきている。 園でも朝、昼、夕の食後には一人ひとり丁寧に歯磨きをして、歯間ブラシ の必要な人には昼食後に実施している。

#### 5 痔、腰痛対策

痔や腰痛の人が増え今年の冬は、これ以上悪化させないように、全職員で取り組んだ。(看護師 藤田照

#### <調理部>

1 平成30年度施設目標

「利用者個々の健康維持増進に配慮した安心で安全な給食提供」

#### 2 実施内容

#### (1)1 年間実施食数

	利用者	ショート	友愛	GH	職員	総食数
全月計	39, 732	5, 898	1, 698	3, 222	9, 762	60, 312
月平均	3, 311	491	141	*268/145	813	5, 026

\*4月~1月/2月~

#### (2)栄養ケアマネジメント

対象者	実	<b>E施期間</b>	モニタリング実施
利用者 39名	通	重年	5月、8月、11月、2月
低リスク37名	中リスク2名	30年度計画変更者3名	

①加古川健康福祉事務所監查9月、 ②東洋産業害虫駆除毎月1回、 ③消毒年3回、検便毎月1回

- (4) 防災
  - (1) 自主点検 終業時毎日実施
  - (2) 災害用食材(非常食・飲料水・備品)3日分を外倉庫に備蓄
- (5)その他

嗜好調查 12 月実施 価格調查 2 月実施

- 3 業務取り組み内容
  - ①行事食 (あかり祭り、忘年会、餅つき会) ⑤栄養ケアマネジメント
  - ②季節メニュー (秋祭り、節分、ひな祭り)
- ⑥喫食調査(1月~毎食)
- ③手作りおやつ毎水、日曜日提供
- ⑦厨房会議月1回
- ④帰省日朝食パン選択メニュー

#### 4 総括、今後の課題

- ・人員の入れ替わりがあり、経験年数の浅い職員と先輩職員の業務の差はあったがOJTだけでなく 基準表を作成し勉強会、ミーティング等人材育成に取り組んだ。
- ・9月の監査で指摘された所は管理栄養士が改善を行い、利用者さんにとってより良い栄養管理に 取り組んでいる。
- ・後期は職員個々の頑張りが見られ、意識の向上、業務の幅の広がり、職員間でチームワークが生まれ 同じ方向性を感じ成長過程ではあるが安定してきている。
- ・高齢化対応としては支援部、医務、管理栄養士、厨房現場との連携で軟菜食の利用者さんは厨房全員で 把握し状態に合わせて提供ができている。利用者さんに寄り添える直営の利点を継続していきたい。
- ・年度途中の欠員の補充は厳しくパートの採用で、栄養士業務の補助、調理もこなせるようになって来た所 の離職だったが他の職員のカバーで乗り切ることができた。
- ・軟菜食提供方法、人材育成、増税に向けて食材の工夫、栄養士業務と調理現場の勤務時間の配分、リーダ 一の資質等の課題に取り組み、次年度も利用者さんの健康維持、安心、安全の食事提供ができるように努 めていきたい。 (調理部 主任 内藤貴美)

### VI 職員研修

#### 1 支援員研修

(1) 第25回あかりの家事例研究会(2/24(日)10時~15時 於あかりの家地域交流ホーム)

テーマ: ①1Fの取り組み、 ②この仕事の魅力(三気の里 今池一成) ③新規採用キーワード発表助言者 (有)かくたつグループ 代表取締役 片倉厚子先生

事例発表 あかりの家支援員(主に資料作成担当、新規採用キーワード発表者)、三気の里支援員参加者 あかりの家職員、採用内定支援員、三気の里支援員1名 計約45人 研究会用冊子の発行(75部)

事後研修事例研究会後、レポートと質問を片倉厚子先生に提出し、質問にはコメントが返ってくる。

#### (2) 学習会・相談日 (嘱託医平井先生による。週末帰宅の土曜日午後3時間の支援員研修)

1	5/19 (±)	平井 Dr.	利用者に関する療育相談
2	6/23 🕀	平井 Dr.	ケース会議(療育研修に向け、よりテーマを深める)
3	7/14 🕀	平井 Dr	利用者に関する療育相談
4	8/25 🕀	平井 Dr.	ケース会議(Tさんが落ち着いて過ごす為に。関係性の改善)
(5)	9/15 🕀	平井 Dr.	利用者に関する療育相談
6	10/13 🕀	平井 Dr.	利用者に関する療育相談
7	11/17 (±)	平井 Dr.	ケース会議(入所等、受け入れの対応を議論)
8	12/15 (±)	平井 Dr.	ケース会議(支援者としての視点や関わりの変化に気付く)
9	1/26 (±)	平井 Dr.	ケース会議(投薬調整後、関わりをどう変えていけるだろうか)
10	2/9 🕀	平井 Dr.	利用者に関する療育相談

#### (3)かくたつ療育研修 (2000年10月~)

スーパーバイザー(有)かくたつグループ代表取締 片倉厚子先生

7/29(日) テーマ「オモシロがって仕事をする」

事前に資料を作成し送付。当日、実地研修およびケース会議を行い、日常の支援に活かすポイントやエッセンスを学ぶ。研修終了後、利用者把握で参加できなかった支援員に、参加支援員が説明。

18年度は、支援員を7つのチームに分け、それぞれのチームが課題を設定し、年間を通して取り組んでいった。療育研修では、その取り組みの報告をし、取り組みについてのアドバイスを頂いた。

各チー	・ムの課題につい	いては以 ̄	ドの誦り。

	テーマ
チーム1	ダイエットについて
チーム2	靴下の履き方「それぞれの認知を知り、そこから生活支援に繋げる」
チーム3	クロスステッチ「余暇活動を通してこの認知を知る」
チーム4	Kさん食事支援「観察と考察の中で、試行錯誤しながら支援を展開する」
チーム5	ADL向上
チーム6	高齢化に向けて「体力維持・増進」
チーム7	虐待関連

研修終了後、各支援員は「研修を終えて(①療育ポイントと感じたこと②質問等)」のレポートを提出。後日、 片倉厚子先生から質問等に対するコメントが送り返される。

例年、年2回実施していたが、業務等見直しの動きの中で、2017 年度に引き続き、2018 年度も一回の実施。

#### (4)トモニ療育研修(2010年11月~)

10年11月、トモニ療育センター(愛媛県)河島淳子先生・高橋知惠子先生を、講師招聘内部研修としてお招きしたのをきっかけに、療育研修として継続している。

<18年度のテーマ>

- ①「支援者の療育思想のチェンジ。とりわけ一方向的関係からの脱皮」 (「第一段階の教育」をおおむね突破したあかりの家のここ何年かの大きなテーマである)
- ②「トモニ療育を更にどう広げていくか」 (今まで「トモニ小集団(研修)」の中でく核なる職員>を作っていただいた流れを踏まえて)
- ③「今までの利用者チームの継続、活動の継続維持」

#### <内容>

第1回研修:平成31年1月17日(木)

午前中はKさん、Tさん、午後はKuさんとAさんを対象ケースとして研修実施。

利用者 6 チームの中から 3 チームと取り挙げ、中間報告という形でCSを送りたいという旨を先生方にお伝えしたところ、あかりまで来て下さる運びとなった。「行き詰ったら呼んで下さい」ということであったが、果たして本当に行き詰ったのか、支援員の汗が見えない等々の指摘を園長からも頂いた。研修中の相浦さんの笑顔は何なのかという話から、トモニチームが何をして、何が必要で、何ができていないのか深く振り返る機会となった。

来年度は目的を明確にして取り組んでいく。

#### (5)整体(研修の方向から)

2007,2008年度の講師招聘研修に来ていただいた永田雄三先生(柔道整復師)の往診(毎週木曜日午後)を、職員研修として位置づけ。2017年度には、事例研究会でも整体を取り挙げ、支援部全体に整体の知識を学ぶ機会があった。利用者が生活しやすいようになるための身体の動かし方や日常に取り入れられる働きかけのノウハウや、そのヒントを得る。そして、それを各担当者や各フロアにつなげ、実践していく。利用者との関わり方を広げる、関わり方の知識をつけるために、若手職員(1~3年目)を中心に学ぶようにしている。主に担当ケースを取り上げて診てもらいつつ、学んだことを現場でも活かせるように係から話をしている。

- (6)中堅職員研修 (休止)
- (7) 課題檢討委員会 未実施
- (8)施設見学、現任訓練等

12月   三気の里 かくたつ合同研修会参加・見学(2日)   熊本県   三原、前阪、原谷、神戸
---

(9)発達障害支援スーパーバイザー養成研修受講(事業1年休止のため研修なし)

#### (10) 出張研修(主なもの)

月	研修内容(実質研修期間)	研修地	参 加 者
8•9	サービス管理責任者研修(5日)	明石等	前阪、内田
7	虐待対応力向上研修(県)	姫路	谷口
8	播淡地区施設長職員研修	姫路	前阪
9	福祉の集い	神戸	山口、藤原(美)
11	近畿地区知的障害者関係施設長会議(2日)	神戸	坊垣
11	第32回全自者協 三重大会(2日)	三重県	三原、坊垣、土井、後藤
9	強度行動障害支援者養成研修(基礎:2日)	神戸	眞鍋
12	強度行動障害支援者養成研修(実践:2日)	神戸	真鍋
12	三気の里とのかくたつ合同研修(2日)	熊本	三原、前阪、原谷、神戸
9~2	障害者虐待対応力研修会(2日)	姫路	前阪、神戸、後藤

#### 2 新任職員研修(支援員)

- (1) 出張研修(今年度はなし)
- (2) 内部研修 (新任研修プログラムによる年間研修)

月		研	修内	容		
4	各部署レクチャー実施(事務、医務、	調理、	防災、	各作業班、	給食保険衛生部会長レク)地域	1

	支援については研修担当から説明程度にとどめた。女性支援員のため、旭班・マスキ班以外は
	レクチャー3回実施。"基礎体力をつける"のデータを渡した。
5	"基礎体力をつける"のレポートを提出。
6~7	現場実習レポート
6~3	保護者通信「あかりっこ」作成(新任支援員で持ちまわり)
8	期末レポート(自分の課題と質問)
9~2	課題レポート
10	課題レポート「DVD『青山新吾(僕が自閉語を学ぶわけ〜特別支援教育の今後を考える〜』
	の第1部「僕が自閉語を学ぶわけ〜第1段階の教育から第2段階の教育へ〜」を見てレポート
11	実習生キーワードを読んでレポート
12	期末レポート(自分の課題と質問)
1	嘱託医の平井 Dr.による相談
3	新任研修終了レポート(学んだこと、これからの意気込み)
チ	あかりの家に届く施設だよりの回覧。

#### 3 保健衛生関係研修(主なもの)

#### 4 調理員研修(主なもの)

月	研 修 内 容	研修地	参加者
9	給食施設相互支援実施訓練	高砂	内藤
9	加古川・高砂・加古郡給食施設協議会「感染症の発生動向」	加古川	長谷
11	管理栄養士•栄養士専門研修会	たつの市	長谷

#### 5 運営・管理・経営的・事務な研修(主なもの)

月	研 修 内 容	研修地	参 加 者
7	全国知的障害者施設長会議(2日)	東京	三原
5	安全運転管理者等講習会	明石	足立
11	苦情解決セミナー	姫路	亀山
1	社会福祉法人の消費税改正への対応(TKC)	神戸	藤原
1	会計実務担当者研修(予算・決算編)	神戸	中右
1	高砂市社会福祉法人連絡協議会第1回設立準備会	高砂	斎藤
2	労働法改正法令等研修会(2回)	神戸	藤原
2	県知協施設長研修	神戸市	坊垣
2	民間社会福祉事業職員退職共済説明会	神戸市	内田
3	障害者総合支援法等関係者事業者説明会(県)	神戸	三原·斎藤·坊垣·藤原
3	障害者総合支援法等関係事業者説明会(姫路市)	姫路	原

#### 6 自己啓発研修

2件2人利用、 他『さぽーと』購入補助5人、姫路親子体操教室参加延べ10人

## Ⅷ 地域交流

- 1 ボランティア
  - (1)音楽クラブ指導(永江先生) 月1回 帰省日でない土曜または日曜日
  - (2) 華道クラブ指導(松尾先生) 月2回 土曜日午前
  - (3)アートクラブ(阿部先生) 月1回 木曜日午後
  - (4)あかり喫茶(秋桜会 5人程度) 第3または第4金曜日 午後、月1回利用者用の喫茶店実施
  - (5)餅つき会(20人程度) 高砂を明るくする会、コスモス (最終回)
- (6)さをり織り製品化ボランティア(あかりの家保護者、元あかりの家利用者保護者、ショートステイ利用者保護者)

- 2 あかりの家行事への地域等からの参加 ボランティア以外、特になし
- 3 地域交流ホームの開放
  - (1) 地域障害児者の和太鼓練習(月2回)
  - (2) ボランティアグループ、高砂を明るくする会会合(新年)
  - (3) 専門図書貸し出し(DVD貸し出し2件)
- 4 後援等(研修会等)

6/17 兵庫県自閉症協会講演会 講演名義

5 地域行事等への参-加等

北浜小学校行事招待、自治会ハイキング、あすなろ学園祭など全て、台風、帰省日、職員体制等で不参加

#### 6 広報

(1)ホームページ

新HP(3代目)13年7月18日にアップ。

新HP開設後、カウンター数の追跡が出来ていなかったが、2015年5月18日(月)に内部カウンター設置。 2017年2月28日(火)にスマートフォンで見れるようにサイトを変更。

また、同時に記事の更新方法をWordプレス形式に変更し、更新作業を簡易化した。

職員募集に果たすHPの役割が、ますます重要になっている。

- (2)広告 (初めての広告。2件)
  - ①10/23・24 一般社団法人全国知的障害者施設家族連合会 第14回全国大会inひょうご 大会冊子

社会福祉法人 あかりの家、あかりの家保護者会、 ワークホーム高砂保護者会の3者で広告

②11月発行 『高砂市暮らしの便利帳(2018) 』 『障がいのあるある人の福祉』 ページに広告

#### (3)発刊物等

	発行日	発行部数	配布対象
保護者通信「あかりっこ」	毎月	各 100 部程	保護者、法人役員•評議員、後援会役員、
No.341 $\sim$ No.352		延 1,000 部程度	採用内定者、ボランティア等
「なみのだとり」N. 90	8/1	600世	法人利用者保護者·職員、後接会員、地
「あかりだより」No.28	(年1回)	600部	域関係施設・全自者協施設・関係機関等
第25回「あかりの家事例研究会」	2/24	75部	法人あかりの家職員、講師、関係者 他

- (4)掲載記事等(新聞・雑誌・機関紙等) なし
- (5)取材 なし
- (6)展示•出展

展示、販売 (「P.6 m「作業の概況」の「3 福祉バザー」、「4 さをり織り委託販売」参照)

7 あかりの家施設見学受入・・・ 7件72人(内、県外 1件22人)

PTA•1	保護者	,	業所関 系	教育•保	k育関係	行政·議	員関係	地域	関係者	当事	書者
3件	54人	2件	10人	件	人	2件	8人	件	人	件	人

クローバやあいあむなど経由の見学者、短期利用希望者、外来相談関係等の見学者は把握できず 6月、徳島県の施設保護者会見学1件

8 その他 記録的なこと

11/11 片倉先生を偲ぶ会(新横浜) 三原、亀山、内田、小山、川崎、(退職職員 那須、守本)

## 咖 地域支援

- 1 障害児等療育支援事業
- (1)兵庫県

	人·施設	件	障害•施設種別	人·施設	件	障害程	人·施設	件
						度		
			自閉症害	21	92	重度	17	92
訪問療育			知的障害	7	25	中度	2	12
等支援事	30	120	重症心身	0	0	軽度	10	15
業			身体障害	0	0	その他	1	1
			その他	2	3			
			生活介護事業他	0	0	TF ≃n →		
施設支援	10	60	就労継続B型	4	11	施設支援指導	10	60
指導事業	12	60	地域活動支援センター	0		後 拍 等 事業	12	60
			学校•保育園	8	49	尹术		
合計	42	180	合計	42	180	合計	42	180

福祉圏域	人·施設	件	利用理由	件
東播磨	42	180	療育相談	180
その他県内	0	0	療育援助	0
			その他	0

### (2) 姫路市

	人·施設	件	障害·施設種別	人·施設	件	障害程度	人·施設	件
訪問療育等		184	自閉症害	49	210	重度	45	200
支援事業	52	104	知的障害	3	13	中度	5	15
外来療育等	3∠	39	重症心身	0	0	軽度	0	0
支援事業		59	その他	0	0	その他	2	8
光池士松市			生活介護他	6	7	+/-=九		
施設支援事 業	9	17	就労継続B型	3	10	施設支援 事業	9	17
未			グループホーム	0	0	尹未		
合計	61	240	合計	61	240	合計	61	240

市町	人·施設	件	利用理由	件
			療育相談	161
姫路市	61	240	療育援助	74
			その他	5
合計	61	240	合計	240

### 2 短期入所(介護給付) 65人 延2,092日

利用开	形態		障害種	重別	男	女・児 者	市町					
形態	日	種別	人	日		人	市町	人	日	市町	人	日
介護給付	2092	自閉	54	1551	男	5 0	高 砂	11	523	神戸	1	37
私的契約	0	自閉	83%	74%	女	1 5	加古川	23	489	尼崎	2	21
		知的	10	539			播磨町	5	301	宍 粟	0	0

-			難病	1	2	者	59	明 石 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	1 5	307	神河 県外	1	$\frac{2}{404}$
	計	2092	計	65	2092	計	65	知论	13	307	計	65	2092

### 3 日中一時支援事業(地域生活支援事業)60人、延584日

利用形態	日	種 別	人	日	男女、児者	人		人	日
地域生活	584	自閉	54	540	男	5 0	高 砂	11	105
支援		日内	90%	92%	女	1 0	加古川	27	283
私的	0	知的	6	4 4			明 石	1	3
契約		ZHDJ	10%	8%			播磨町	3	5
		その他	0	0	児	1 9	稲美町	1	2
		てりが	0	0%	者	41	姫路市	17	186
計	584	計	60	584	計	60	計	60	584

4 被虐待者障害者一時保護支援(高砂市と播磨町・稲美町と契約)

実績なし

- 5 姫路親子体操教室(兵庫県自閉症協会姫路ブロック事業)
  - こどもの身体への働きかけを通して、受容と主導のバランスをもった親子のいい関係作りをめざす。
  - 三原施設長の高砂親子体操教室のプログラムを準用し、'95.7三原施設長が指導者として開始。
  - '19年3月で633回実施。基本は月2回、土曜日、10時から1時間半程度実施。

18年度参加者 メンバー9人;小4から26歳の男子、全員姫路市 16回 延75組の親子参加

### 6 講師、発表、寄稿等 ※( )は法人内別事業所職員

全日本	自閉症支援者協会研究	大会 三重大会	分科会	÷ ·			10/2	23	指定	討論	(和田)
全国知	的障害者施設協会家族证	車合会 全国大	会 in ひ。	ょうご			10/2	24	話題	提供	三原
かくた~	つ合同研修会(三気の里(	熊本県))			12,	/2	発題	三原	、前場	豆、原谷	、神戸
	平成30年度 第1回 9/14·15									三原	
兵庫	兵庫							海習	補助	亀山	
県	強度打動障害又版名     養成研修		第2回	10/	<sup>21</sup>					亀山	
	食以训修	実践研修	12/17•	18		講師	i•演習補	胁	三原、	坊垣、	(和田)
兵庫県	:自閉症協会 •神戸市自同	閉症協会 研修	旅行				9/28•29 講師、介護 尾			尾崎	
長田区	自立支援協議会学習会「	行動障害に寄	り添う」				11/23		講師		三原
行動援	護従業者養成研修(NPC	D法人ぱれっと	主催;		10•1	1月	講師	三原	、坊垣	1、亀山	、尾崎、
神戸市	<u>;</u> )				(4)	日)	中印川	前阪	え、(齋)	藤、和田	1、濱口)
行動採	行動援護従業者養成研修(姫路心身障害市民懇話会主催)							三原、坊垣、亀山、尾崎		、尾崎、	
11 期 抜	打到饭暖促来有餐风咖啡饭烟站心为障音印风怨的云土惟/ (4日							前阪	え、(齋)	藤、和田	日、濱口)
加古川	加古川市障がい者基幹相談支援センター								相彰	<u>ڊ</u>	坊垣

#### 7 関係団体等への役員や職員派遣等

全日本目員	自閉症支援者協会  役	副会長	'10. 7~'19. 7			三原
兵庫県自	閉症協会	役員			98~	三原
	姫路ブロック 姫路親子体操教室	指導者派遣 年			間、95~	三原、道端、後藤
神戸市自	閉症協会	顧問	問 11		1.4~	三原
播淡地区	区 職員代表者会	スポーツ	委員		18. 4~	前阪
播磨町	委員			12.12~	三原	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	播磨可懂害者福祉計画策定委員会				17.7~	三原

<sup>&#</sup>x27;18年度は、三原を中心にして、道端、後藤支援員が参加。

	地域自立式	支援協議会推進会	議		委	員			10.6~	三原
稲美町	地域自立为	支援協議会			委員				11.4~	三原
	自立支援終	立支援給付等審査会				審査委員			06.6~	三原
			全位	本会	構	成員			08. 2~	三原
	地域自		運営会	試議	委	員			10.6~	三原
高砂市	立支援	くらし音			委員				12. 4~	三原
	協議会		こども音	こども部会					14.4~	(福原)
		障害福祉計画	<b><u>售</u>抄評価会議</b>		構	成員				三原(濵口)
	高砂児童等	学園応援チーム	応援チー	-ム 柞	構成員			15.	<i>7</i> ∼18. 5	三原、(濵口・橋本)
高砂市共	<b>共同募金委員</b>	会 募金推進	委員		委		員		18. 6. 1~	三原
社会福祉	祉法人 トリトン			評諱	鮼		16.	3~		坊垣
社会福祉	会福祉法人 曽根福祉会			評議	議員 17.4~		4~		三原	
社会福祉	社会福祉法人 常寿会				義員 17.4~			4~		藤原

#### 8 主幹開催等 なし

#### 9 実習受入

- (1) 発達障害支援スーパーバイザー養成研修・実務研修受入 ・・・事業1年休止のため、受け入れ無
- (2) 学生、施設職員(含上記(1))、学校先生等・・・ 8件、14人、延157日)

介護等体験(教職員免許必修実習)	0件	0人	延 0日
社会福祉援実習(社会福祉士受験資格)	1件	2人	延46日
保育実習	6件	11人	延 110日
現任訓練(特別支援学校先生、事業所支援員など)	1件	1人	延 1日
体験ボランティア実習(関西福祉大学2年生;谷ロクラス)	0件	0人	延 0日
発達障害支援スーパーバイザー養成研修・実務研修受入(上記(1)再掲)	O件	0人	延0日

7/13 関西福祉大学 社会福祉学部実習打合わせ会 於;ホテル日航姫路 土井(孝) 出席 (3)児童・生徒

体験実習(特別支援学校)	O件	0人	延 0日
--------------	----	----	------

10 福祉避難所 ・・・ 高砂市福祉避難所の指定に関する協定('14(H.2).11) 連絡網訓練有、利用無

## 区 個別支援計画・施設サービス評価・苦情解決 ・虐待防止

- 1 個別支援計画 前期と後期の年2回作成。(保護者との懇談を7/1に実施)
- 2 施設サービス評価 2009年度実施(播磨地域福祉サービス第三者評価機構)以降無し
- 3 サービス苦情解決(障害者支援施設、短期入所事業)

苦情受付担当者	亀山 隆幸(サービス管理責任者)
苦情解決責任者	三原 憲二(あかりの家施設長)
第三者委員	富士原一成(前 高砂市社協理事長) 高尾 剛一(元高砂市福祉部次長、あかりの家前監事)

期末休み明けに「休み中の生活の様子」を聞き取る。その際「あかりの家への要望等」の項目を設定し、毎期末休み明けに要望を聞き取っている。

今年度、6件「あかりの家への要望等」を取り上げる。

<受付事例>

支援に関する内容(療育支援に関すること・衣類管理に関すること・長期休みの短縮希望など)

#### 4 虐待防止

(1) 2019年2月25日 第24回あかりの家事例研究会のい場で、「あかりの家療育倫理規定―あかりの家虐 特防止5本の柱―Ver. 2-④」(2018. 1. 1)の廃止宣言(三原施設長)

- (2) 2019年3月 第3期虐待防止委員会発足
- (3) 4月3日 高砂市に、あかりの家での虐待通報が入る。

4月9日~4月20日までの間、計5日、内4日は支援員の聴き取り、1日は記録類の確認がある。

4月24日付で、高砂市より、県障害福祉課長と加古川健康福祉事務所長宛に、調査結果(虐待を疑う事実は認められなかった)が報告される。

※内容は、発達障害支援SV養成研修・実務研修受け入れ時の、研修生からの"告発レポート"(20 18

年3月 13日、松上全自者協会長から東京で受け取る)に端を発し、(一般社団)日本自閉症協会が、県に通報し、高砂市に転送されたもの。

通報に関して、全自者協、自閉症協会、兵庫県自閉症協会、等とのやりとりがあり、全自者協は、「(高砂)市や当協会による調査の結果、その事実は全く認められなかった」と「全自者協ニュース第52号」で報告あり。

ただ、兵庫県自閉症協会長の応援を得ての日本自閉症協会とのやり取り(資料を送り、メール等で)では、 未解決のままである。(関係機関等との一連のやり取りについては、別に綴りあり。)

### |X| リスクマネジメント · 防災 · 安全 · 衛生

1 リスクマネジメント

怪我、投薬ミス、物品破損、車キズ等については、「事故等報告書」提出を義務付け。

18年度は55件提出(17年度:55件。16年度:56件。15年度:57件。14年度:62件、13年度:113件)。

<怪我>22件(前年比:+7件)

骨折1件 (+14)。打ち身、腫れ、切り傷、すり傷等が15件 (+14)。その内、裂傷6件あり。 ランニング・作業棟移動での転倒は0件 (-44)。

<破損(利用者対応を伴う)>5件(-3件)

ガラス破損2件(-1件)、その他、エアコンカバー、トイレフタ、お茶タンク等。

<投薬ミス>全12件(-1件)

17年度、SS利用者関係がミスの約60%に対し、今年度は25%と減少。

帰省日・帰園日のミスが5割に対し、58%〔(木)(金)(土)(日)が8/12件〕。

H29.3 月より、SS 管理表にて受入れ時、「投薬の有無、セット済、受給者証返却済」等の項目を設け、 チェックする体制を導入している。

<その他>16件

無断外出2件(+1件)、作業棟や公用車からの誘導忘れによる利用者放置2件(+2件)、公用車に関する事故4件、金銭関係(小遣い帳清算ミスほか)。

#### 2 防災

- (1)防災訓練
  - ①訓練内容(上記①②含む)
    - a 避難訓練 10/9 31年3/27
    - b 通報訓練 10/9 31年3/27
    - c 消火訓練 10/9 31年3/27
  - ②新任レクチャー(4月に実施)
    - ・火災時の対応・避難訓練の説明・消火器、散水栓の取り扱い方などを説明 ※今年度は高砂消防本部を要請しての避難訓練は実施なし
- (2)消防自主点検 月2回程度実施
- (3)消防計画変更なし
- (4)防災マニュアル作成
- (5)業者委託点検等
  - a 消防用設備等(スプリンクラー設備、非常動力設備、自動火災報知設備、消防機関に通報する火災報知 設備、誘導灯及び誘導標識、消火器具) 年2回(4、10月)点検

内、10月分を「消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書」として高砂市消防本部へ届出

- b 特殊建築物等定期調査 → 無
- (6) 電気設備の安全調査(加古川地区電気安全調査センター) 4/23 「良好」

- (7) L Pガス設備保安点検((有)保安センター東播) ➡ 無
- 3 交通安全
  - (1) 車両管理:担当者により点検
  - (2) 無事故・無違反運動「チャレンジ100」(<u>10/1~1/8</u>)(県全運転管理者部会等共催)に9年連続9回目の参加。3チーム(1チーム10人、計30人参加)編成し、2チームが無事故・無違反を達成し、表彰を受ける。

(1 チーム時代6回中5年無事故無違反、今回含めて延17チーム中13チーム無事故無違反達成)

(3) 安全運転管理者等講習会 5/18 足立事務員(補)出席 安全運転管理者等講習会 9/19 坊垣副施設長出席

#### 4 衛生

- (1) 貯水槽清掃 8月4日業者にて実施
- (2)合併処理浄化槽関係
  - ①合併処理浄化槽業者点検 年24回(毎月2回)実施
  - ② (社)兵庫県水質保全センター検査 8/8「不適正」清掃の記録がない
    - ➡ 委託業者プロンテック対応するとのこと

### XI 総務関係

1 職員の採用・退職(あかりの家)

(1)正規職員 採用2人 4/1支援員(女1)事務員(女1)

退職5人 6/30(調理員女1)、8/31(事務員女1)、3/31(支援員男2)

(2)嘱託職員 採用1人 4/1 支援員(男1)

身分変更 8/1 調理員(女1 パート→嘱託)

退職2人 5/20 支援員(男1)、2/28 支援員(男1)

(3)パート職員 採用2人 8/20調理員(女1)

退職2人 3/31 調理員(女 1)

- 2 求人活動(法人)
  - (1) 2019年新卒支援員等求人
    - ①インターネット求人サイト「マイナビ」を活用

◇イベント

インターンシップフェア (12/9神戸、12/17姫路)

マイナビ就職セミナー (3/5神戸、3/8姫路)

福祉の就職総合フェア (3/10神戸:社協)

◇インターシップ導入:2018年1月、2月 **(初)** 

1/5 (参加者1人)、2/5 (参加者1人)、2/9 (参加者3人)

◇法人説明会&見学会(あかりの家交流ホーム)

第1回3/6(参加者3名)、第2回3/16(参加者9人)、第3回3/19(参加者3人)、第4回3/22(参加者9人)、第5回3/26(参加者6人)、第6回4/17(参加者2名)、

第7回4/26 (参加者7名)、第8回5/23 (参加者3名)、

学校紹介その他見学 7/13(参加者 1人)、8/27(参加者 2人)、9/18(参加者 1人)、 〈採用試験

3/6(受験者 3人→採用1人、辞退2人)、3/16(受験者 2人→採用0人、辞退1人)、

3/19(受験者 2人→採用0人、辞退0人)、3/22(受験者 1人→採用0人、辞退1人)、

3/26(受験者 2人→採用0人、辞退2人)、4/18(受験者 3人→採用0人、辞退2人)、

4/23(受験者 5人→採用1人、辞退2人)、4/26(受験者 1人→採用0人、辞退0人)、

5/23(受験者 5人→採用2人、辞退2人)、7/13(受験者 1人→採用1人、辞退0人)、

8/27(受験者 2人→採用2人、辞退0人)、9/18(受験者 1人→採用1人、辞退0人)、

#### (2) **2020年**新卒支援員等求人

①インターネット求人サイト「マイナビ」を活用

◇イベント

マイナビ就職セミナー (5/13 神戸、2/15 姫路、3/8 姫路、3/11 神戸) インターンシップフェア (6/24 神戸、12/15 神戸、12/26 姫路)

◇インターシップ:2018年8月、9月、2019年1月、2月

8/1 (参加者4人)、8/8 (参加者5人)、8/22 (参加者4人)、9/5 (参加者4人)、9/12 (参加者1人)、1/30 (参加者2人)、2/6 (参加者2人)、2/13 (参加者4人)、

◇法人説明会&見学会(あかりの家交流ホーム)

第1回3/4(参加者2名)、第2回3/18(参加者3人)、第3回3/25(参加者4人)、

◇採用試験

3/4(受験者 2人→内定1人)、3/24(受験者 4人→内定2人)、

#### 3 職員構成(あかりの家)(19.3.31現在)

		施張	副施援	対鎖	看斷	事績	栄養士	調買	計
常勤	男	1	2	16					19
職員	女			11	1	2	1	3	18
現員	計	1	2	27	1	2	1	3	37
排常	劼			4 (4)		1 (1)	1 (1)		6 (6)
	計	1	1	31 (4)	1	3 (1)	2 (1)	3	43 (6)

#### 4 職員年齢構成('19.3.31現在)

		20代	30代	40代	50代	60代	70代	計	総計
常	男	3	7	6	1	1	1	19	36
勤	女	7	3	3	3	1		17	30
鹅	勸	1 (1)	2 (2)	1 (1)	3 (3)			7 (7)	7 (7)
総	+	11	12(2)	10	7 (3)	2	1	43 (7)	43 (7)

※常勤職員平均年齢39.3歳、常勤生活支援員平均年齢33.9歳、常勤職員平均勤続年数8.9年

#### 5 資格取得の状況(常勤職員:延人員)

サービス管理責任者(7)、社会福祉士(5)、精神保健福祉士(1)、介護福祉士(1)、介護支援専門員(1)、知的障害援助専門員(1)、保育士(7)、教員(5)、幼稚園(3)、相談支援援助実習指導者(1)、臨床心理士(1)、准看護師(1)、管理栄養士(1)、栄養士(1)、調理師(2)、防火管理者(5)、社会保険労務士(1)

#### 6 表彰(法人)

(1)法人あかりの家表彰(2011年4月「表彰規程」施行)

20年勤続	村田伊都子
10年勤続	藤原通代、西野浩美
功績	内田多美(業務改善)、宮本翔(優秀実践賞)

#### (2)外部機関・団体からの表彰

兵庫県表彰(5月)	福祉功労	三原 憲二

兵庫県知的障害者施設協会(5月)	永年勤続(15年勤務)	岸本 好正
県全運転管理者部会等共催	無事故·無違反運動	3チーム・30人参加、
	「チャレンジ100」達成表彰	2チーム達成

7 衛生委員会(2016.9.1発足)

委員会:毎月1回開催 (年12回実施)

委員:統括管理者(三原)産業医(井野)衛生管理者(藤原)看護師(藤田)改善委員会担当支援員

主な議題 : 長時間労働の実態報告、職員の健康診断、感染症対策、作業環境について等

8 購入、工事、修繕、寄付物品等(10万円以上)

4月	業務用冷凍冷蔵庫(ホシザキ阪神)	31.4万円
4月	王ギョウ氏寄付 軽四中古車 1台	3 5 万円程度
5月	北棟プレハブ増築工事(河田建設㈱)	420 万円
5月	北棟プレハブネットワーク配線工事 (リコージャパン(株))	25.9万円
7月	エアコン<1F支援室>	10.8万円
0月	照明器具LED取替工事<居室、廊下、トイレ等>(オカノデンソー)	250 万円
0月	食堂床面改修工事(河田建設㈱)	18.9万円
2月	女子トイレ便器ウォシュレット取替工事(河田建設㈱)	18.6万円
3月	厨房食洗器修理(ホシザキ阪神)	18.1万円

### 年度特記事項

1

- 1「行動援護従業者養成研修」・・・法人全体(法人内7人+天野真砂園施設長)で講師陣構成
  - ①8月 姫路心身障害市民懇話会 主催 4日間 (委託されて4年目)
  - ②10·11 月 NPO法人ぱれっと主催(神戸市) 4 日間 (2年目)
- 2 労働紛争継続中・・・平成29年7月14日付け訴状(未払割増賃金等請求事件;未払賃金とパワハラ) 神戸地裁にて弁論準備期日開催継続。 平成31年3月末時点で、原告第11準備書面、被告準備書面(6)
- 3 虐待通報がある。(詳細については、本文 Ⅲ 参照)

### 2018 (H.30) 年度

## 障害児通所支援 児童デイサービスあかりの家 事業報告書

2019. 3. 31 現在

#### 1 事業総括(平成24年1月1日認可)

あかりの家だからこそできる療育の確立を目指して、基本的には、一人ひとりの児童の特性に応じた個別セッション方式(2時間を基本設定)による丁寧な療育に努めようとしてきた。しかし、年々利用ニーズの量的増加と共に、質の多様化が顕著に見られるようになっている。

障害に対する専門性、個別事情に対する柔軟性が一人一人に求められるようになっている。

量の増加は、個別セッションの限界を感じさせ、質の変化は、力量不足を如実に感じさせるものとなっている。 困難さばかりを言っていては、前向きな支援ができないため、手探りしながら、課題に対して、"あかりの家"として 応えなければならない。その中で、

中高校生を対象とした作業設定(小集団) 小学生を対象にした自立設定(小集団)

重度・急性期児童に対する個別対応

の3つの枠組みをイメージし、物理的な個別療育ではなく、個別目的に合わせた支援を行うようにした。

個別性を見定め、その児童の今、将来を繋げるために何が必要なのかを保護者さんと検討をし、必要な支援を どの位置づけで作っていくのかということを慎重に考えるようにしてきた。

#### 2 事業内容

#### 《事業の経過》

平成24年1月1日「児童デイサービスあかりの家」(県民局指定)として事業開始

指定障害福祉サービス事業者(障害者自立支援法)として指定(東播磨県民局)

平成 24 年 4 月 1 日 改正児童福祉法により指定障害児通所支援事業者のみなし指定(県障碍者支援課長) 支援の種類(児童発達支援、放課後等デイサービス)

平成25年4月1日「児童福祉法第21条の5の15第1項の規定により(略)同法第21条の5の3第1項の 指定障害児通所支援事業所として(略)指定(県指定)

児童発達支援

放課後等デイサービス

\*事業全体での定員 10 名

平成 26 年 9 月 1 日 保育所等訪問支援事業開始(県指定)

"児童発達支援事業"、"放課後等デイサービス事業"、"保育所等訪問支援事業"の3つの事業を行っている。3つの事業は、サービス管理責任者1名、専任職員2名、パート職員1名(~8月/12月~)で担当。

### 1直接支援

児童発達支援 9:30~11:00 、12:30~14:00 の 2 部構成(個別セッション) 放課後等デイサービス 学校等が終わってから 17:00 まで(目安として 15:00~17:00) 保育所等訪問支援事業 ニーズが増え始め、関係機関を巻き込みながら展開している。

#### 2間接支援

訪問療育・外来相談 地域の相談支援事業所や学校、幼稚園、保育園からの要請が増えている。

#### 3 契約者の状況

(1)利用定員と利用契約者数〈平成30年3月31日現在〉 (単位:名)

利用定員:1日あたり	利用契約者数
児童発達・放デイ:10名	43名(児童発達:15、放課後:28)
保育所等訪問	9名(高砂市内:幼保2件、小1件 市外:特支2件 小1件)

### (2)所属《平成30年3月31日現在》\*高校卒業児童含む()高砂市在住 (単位:名)

	所属なし	<b>从郑国 归</b> 安国	小	学校	#		
	が属なし	幼稚園・保育園	普通校	特別支援	普通校	特別支援	計
男	1(1)	10(9)	13(10)	1(0)	2(0)	6(3)	33(23)
女	1(0)	3(3)	2(2)	3(0)	0(0)	1(0)	10(5)
計	2	13	15	4	2	7	43

### 4 事業実績

### (1)直接支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童発達支援	38	49	48	48	43	46	58	56	55	66	63	66	636
放課後等デイ	120	135	132	130	113	101	123	116	116	107	109	103	1405
保育所等訪問	15	14	13	12	11	6	7	7	6	9	8	4	112

参考)平成 29 年度 児童発達・放課後デイ 1751 保育所訪問 141

- (2)間接支援(相談、療育支援) \*児童通所支援としてカウントしない法人としての動き
- ①事業所等支援(保育所、学校等からの要請により、助言等を行う)\*サービス担当者会議は除く 計 63件

17					
日時	行き先等	内容	日時	行き先等	内容
4月10日	さいしゅうじこども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方	10月25日	北浜小学校	契約児童の支援に関する相談
4月23日	正蓮寺こども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方	10月29日	北浜小学校	契約児童の支援に関する相談
5月2日	のぞみ(姫路)	児童デイサービスの役割等について	11月6日	さいしゅうじこども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方
5月21日	正蓮寺こども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方	11月14日	曽根保育園	契約児童の支援、方向性に関する相談、助言
5月22日	さいしゅうじこども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方	11月26日	正蓮寺こども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方
6月11日	中筋保育園	利用児童M君の支援についての助言	11月28日	野口北小学校	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方
6月12日	さいしゅうじこども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方	11月29日	とうばんの森	契約児童の支援に関する相談・助言
6月15日	のぞみ (姫路)	利用児童Sさんに関する支援実態について説明	12月5日	正蓮寺こども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方
6月21日	東はりま特別支援学校	在籍児童の家庭支援に関する相談	12月11日	さいしゅうじこども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方
6月22日	支援ネット 他	利用児童Sさんに関する支援実態について説明	12月12日	東はりま特別支援学校	6月から支援している児童に関する支援の方向性の共有助言
6月25日	正蓮寺こども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方	12月17日	正蓮寺こども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方
6月28日	さいしゅうじこども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方、支援者育成	12月20日	北浜小学校	契約児童の進路、支援の方向性に関する相談
7月3日	さいしゅうじこども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方	12月25日	北浜小学校	契約児童の進路、支援の方向性に関する相談
7月9日	正蓮寺こども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方	12月27日	なかすじ保育園	契約児童の支援の方向性に関する相談
7月13日	東はりま特別支援学校	在籍児童の家庭支援に関する相談	1月8日	さいしゅうじこども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方
7月23日	阿弥陀小学校	元契約児童に関する現状に関する助言	1月28日	正蓮寺こども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方
7月24日	さいしゅうじこども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方、支援者育成	2月6日	東はりま特別支援学校	契約児童の支援の方向性、家庭状況に関するサポート体制について
7月27日	東はりま特別支援学校	直接療育支援、方向性の共有(支援者育成の観点)			の相談
8月2日	正蓮寺こども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方	2月8日	北浜小学校	契約児童の支援の方向性に関する相談
8月3日	東はりま特別支援学校	直接療育支援、方向性の共有(支援者育成の観点)	2月12日	さいしゅうじこども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方
8月22日	東光中学校(通級)	契約児童の支援に関する助言と方向性について	2月18日	曾根小学校	契約児童の支援の方向性に関する相談 申し送り
8月27日	東はりま特別支援学校	直接療育支援、方向性の共有(支援者育成の観点)	2月21日	北浜小学校	契約児童の支援の方向性に関する相談
8月28日	とうばんの森(会議)	契約児童の家庭支援に関する相談	2月25日	正蓮寺こども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方
9月4日	さいしゅうじこども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方	2月26日	北浜小学校	契約児童の支援の方向性に関する相談
9月10日	正蓮寺こども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方	2月27日	東光中学校	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方、進路等の相談
9月18日	なかすじ保育園	契約児童の家庭支援に関する相談	3月5日	野口北小学校	契約児童の支援の方向性に関する相談
9月28日	さいしゅうじこども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方	3月8日	東はりま特別支援学校	契約児童の支援の方向性に関する意見交換
10月9日	さいしゅうじこども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方	3月12日	さいしゅうじこども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方
10月19日	野口北小学校	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方	3月18日	正蓮寺こども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方
10月19日	東はりま特別支援学校	行動障害を有する児童に関する対応上の助言	3月28日	曾根小学校	契約児童の支援の方向性に関する相談 申し送り 関係機関連携
10月22日	正蓮寺こども園	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方			確認
10月23日	東光中学校	発達の気になる児童に関する関わりや捉え方、進路等の相	3月29日	的形こども園	契約児童の支援の方向性に関する相談 申し送り
		<b>談</b>			
10月25日	東はりま特別支援学校	直接支援(学校との共同支援)			

\*発達が気になる子についての相談、支援助言、直接支援:正蓮寺こども園 ・さいしゅうじこども園 (1回/月) \*高砂市

### 2講演、講義講師

日時	行き先	内容	
4月23日	兵庫大学	福祉現場実習前講義	『施設の立場から実習前に知っておいてほしいこと』

5月24日	NPO アエソン	ママの困ったにこたえる講座 『じっと座ってくれない どうしたらいい?』
6月21日	NPO アエソン	ママの困ったにこたえる講座 『こだわり 気持ちの切り替え どうすればいい?』
11月22日	NPO キッズスペース	高砂市学童職員学習会 『発達障害とは何か?』

## 多機能型事業所 ワークホーム高砂 事業報告

2019. 3. 31現在

### I 利用者状況

### 1 定員と契約者数

(単位:人)

事業種別	定員	契約者数
(1)生活介護事業	12	1 4
(2)就労継続支援B型事業	28	2 9
合 計	4 0	4 3

### 2 市町別契約者数

(単位:人)

市町名	生活介護事業	就労継続B型事業	計
高砂市	7	19	26
加古川市	1	3	4
播磨町	1	2	3
小野市	0	1	1
姫路市	5	4	9
合 計	1 4	2 9	4 3

### 3 利用者年齢構成

### (1) 生活介護事業

(単位:人)

年齢	10歳代	20	)歳代	30歳代		4 0歳代		50歳代		合計
	~19	~24	~29	~34	~39	~44	~49	~54	~59	
男	0	2	0	2	2	0	4	1	0	11
女	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
合計	0	2	0	2	4	0	5	1	0	1 4

	男性	女 性				
最少年齢	22歳9ヶ月	38歳0ヶ月				
最高年齢	52歳4ヶ月	49歳5ヶ月				
平均年齢	38歳9ヶ月	42歳5ヶ月				
男女平均年齢	39歳7ヶ月					

### (2) 就労継続支援B型事業

(単位:人)

年齢 10 歳代		20歳代		30歳代		4 0歳代		50歳代		合計
十一图巾	~19	~24	~29	~34	~39	~44	~49	~54	~59	
男	0	1	7	7	3	2	1	0	1	22
女	0	0	0	0	4	3	0	0	0	7
合計	0	1	7	7	7	5	1	0	1	29

	男性	女 性			
最小年齢	20歳0ヶ月	36歳4ヶ月			
最高年齢	55歳0ヶ月	44歳10ヶ月			
平均年齢	33歳2ヶ月	40歳3ヶ月			
男女平均年齢	3 4歳10ヶ月				

### 4 利用延べ人数等

(1)生活介護事業 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11 月	12月	1月	2月	3月	合計
実人員	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
延人員	251	296	284	278	300	281	292	288	281	271	271	289	3, 382

(2) 就労継続支援B型事業

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12月	1月	2月	3月	合計
実人員	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348
延人員	566	631	610	598	629	602	616	610	600	552	546	577	7, 137

(3) 利用者の入退所の状況(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

生活介護事業
 就労継続B型事業
 入退所なし

#### 5 障害支援区分

(1) 生活介護事業

(単位:人)

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
高砂市	1	0	3	3	7
加古川市	0	0	1	0	1
播磨町	0	1	0	0	1
姫路市	0	2	1	2	5
合 計	1	3	5	5	1 4

#### (2) 就労継続支援B型事業

(単位:人)

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
高砂市	4	0	5	7	2	0	1	19
加古川市	0	0	0	2	1	0	0	3
播磨町	0	0	2	0	0	0	0	2
姫路市	2	0	0	1	1	0	0	4
小野市	0	0	0	0	0	1	0	1
合 計	6	0	7	10	4	1	1	29

### 6 知的障害の程度(「療育手帳」の判定による)

区 分	重度	中度	軽度	なし	合計
男	18人	11人	4人	0人	33人
女	7人	3人	0人	0人	10人
計	25人	14人	4人	0人	43人
比率	58%	33%	9%	0%	100%

### 7 自閉症または自閉的傾向を有する者(入所時の諸書類をもとに集計)

区分	男	女	計
人員	17/33	2/10	19/43人
比率	51.5%	20%	44. 2%

8 その他の障害、てんかん

(単位:人)

	区	分	男	女	計	総計
身	肢体	手帳所持	1(2種6級)	0	1	c
障	難聴	手帳所持	1(1種2級)	0	1	۷
精	神科薬	てんかん	5	0	5	5
		延べ人数	7	0	7	7

#### 9 利用者の通所方法

バスと 方法 山陽 付添 徒歩 自転車 バス J · R 利用者 J · R 電車 通所 男 7 10 33 1 1 1 2 0 2 女 2 0 2 2 10 2 0 2 1 0 計 43 13 9 4 4 12

(単位:人)

### Ⅱ 生活支援

#### 1 日課

8:50 来所

9:00 作業

10:30 休憩(15分)※夏場は30分毎に水分補給

12:00 昼食(60分)

13:00 | 作業

15:00 休憩(15分)※夏場はスポーツ飲料を提供

17:00 全作業終了、帰宅

#### 2 余暇等の活動

#### (1) 昼休憩の過ごし方

休憩は「食堂兼休憩室」及び、更衣室で各自の好みの場所で自由にとっている。なお、自閉症の方については、落ち着ける環境を整える必要性から、食堂内に固定の席を設けるなどの工夫を行っている。昼休憩が唯一のくつろげる時間となっていることから、昼食後にコーヒーや紅茶を楽しんでいただけるよう"わーくわく喫茶"を継続実施した。例年、職員がコーヒーを淹れるところから提供するところまで全て担っていたが、今年のわーくわく喫茶では、スタッフとして日替わりで利用者に参加してもらった。

#### (2)休息時間の過ごし方

音楽、ゲーム、絵描き、談話等、利用者の興味や関心に合わせ自由に過ごせるように配慮するほか、 自由な時間を過すことが苦手な利用者には、職員が話題、課題等を提供し、会話や余暇を楽しんでいただ けるように配慮した。

#### 3 クラブ活動・サークル活動

#### (1) 料理クラブ

今年度は全利用者が料理を楽しみ、技術を学ぶことをテーマに行った。1回に3~4名の利用者が2名のボランティアの支援を得て、包丁の扱い方、言葉遣い等を学びながら、季節の食材を利用した調理に挑戦した。(曽根公民館にて計12回 毎月1回実施 )(ボランティア:魚橋さん、崎田さん)

#### (2) サークル活動

余暇活動の一環として月に2回(水曜日)、作業終了後の15:30~16:30までの約1時間、「スポーツ」「文化」の2種類に大きく分かれてサークル活動を実施。6月下旬~11月下旬までは、初参加となった「ばんたんゆうあい文化祭」の合唱・合奏練習をサークル活動の一環として行った。

#### 4 行事関係

#### (1) 主な年間行事

4月	お花見会
5月	のじぎくスポーツ大会(陸上)、ばんたん親善運動会
9月	一泊旅行(鳥取)、保護者会バーベキュー大会
11月	ばんたんゆうあい文化祭、五色精光園祭(納豆販売)
12月	保護者会クリスマス会
3月	お疲れさん会

#### (2) 一泊旅行

平成30年9月9日、10日、利用者41名、職員9名が大型バス1台を貸し切る一泊旅行を実施し、 蒜山、鳥取方面の旅行を楽しんだ。行き先は「水木しげるロード」「蒜山高原センター」等で、各見学施設 では、5グループに分かれて班行動をして楽しんだ。「皆生温泉」では、沢山の利用者がカラオケを披露す るなど、楽しい一日を過ごした。また、入浴や睡眠を普段とは違うメンバーで行うことができ、貴重な機 会となった。

#### (3) のじぎくスポーツ大会

5月26日(土)、三木市総合防災公園総合陸上競技場において3名の利用者が参加した。男性1名が100m走(青年の部)、男性1名が200m走(青年の部)、男性1名が1500m走(壮年の部)に参加。金メダル2個を獲得した。

#### (4) ばんたん親善運動会

5月25日に、第30回ばんたん親善運動会が開催され、利用者6名と職員2名が参加。晴天の中、皆さん積極的に競技に参加され、また、他事業所の方との交流も深めることができた。

#### (5) ばんたんゆうあい文化祭

11月22日、姫路市文化センター大ホールで「ばんたんゆうあい文化祭」が開催され、利用者42名 と職員10人が参加した。ハンドベルで「アメージンググレイス」と「聖者の行進」を2グループにわけ て演奏し、「世界に一つだけの花」を全員で」合唱し、観客から盛大な拍手をいただいた。

#### (6) おつかれさん会

3月20日に1年間の締めくくりとしておつかれさん会を実施した。全員にケーキと飲み物を配り、1年間の作業や行事等をスライドショーにして上映し一年を振り返った。

### Ⅲ 作業支援

#### 1 作業内容

- (1) 作業は、ゴトウ・アズ・プランニング社との連携によるクリーニング作業のほか、自主事業として「納豆(なっとこちゃん)」(生活介護事業)の製造・販売を行った。
- (2) クリーニング作業については、作業リーダー制、休憩交代制を導入し更なる利用者さんの自主性を伸ばす 取り組みを進めていき、働き方の抜本的な見直しを行い作業効率の向上に努めた。
- (3) 納豆作業については、生活介護事業に位置付けて7名の利用者で実施した。

主な販売場所は、スーパーYAMADA (阿弥陀店など4店舗) のほか、法人内事業所や周辺の福祉事業所であるが、職員を通じた販売も積極的に行った。また、毎週日曜日には、加古川カトリック教会で販売させていただいた。加えて12月から新たに高砂市の保育園等の給食の食材として、不定期に納豆の納品を行った。

なお、その他バザー等への出店については、次のとおり

- 11月4日(土) 五色精光園祭に利用者3名と職員2名で参加
- 10月28日(日)加古川カトリック教会バザー

#### 《便宜上の班分け及び主な作業内容》

クリ	仕分け	4人	大型洗濯機に投入する事前の仕分け作業。主として、シーツ類の仕分け
	シーツ	11人	シーツロール機等(シーツ乾燥・折りたたみ・結束等)、への投入や出荷管理
ーング	タオル	9人	手作業によるタオルたたみ及び出荷管理
班	たたみ	12人	衣類、布団、シーツ、タオル類のたたみ、包装及び出荷管理
納豆班 7人 納豆の製造、販売、商品名「なっとこちゃん」		納豆の製造、販売、商品名「なっとこちゃん」	

(単位:円)

	事 項	平成29年度	平成30年度	備考
	洗濯事業収入	18, 546, 456	19, 029, 512	ゴトウ・アズ・プランニング委託料
収	納豆販売収入	3, 553, 790	4, 278, 860	自主生産事業
入	公園清掃収入	62, 500	62, 500	高砂市からの委託料(楠公園清掃)
	計	22, 162, 746	23, 370, 872	
	工賃支給額	19, 044, 500	20, 444, 070	
支	作業経費	2, 613, 123	2, 126, 027	賃借料・水道光熱費・納豆材料費等
出	消費税	753, 609	797, 220	
	計	22, 411, 232	23, 367, 317	
	収支差額	<b>▲</b> 248, 486	3, 555	

#### 3 協力企業との関係

- (1) クリーニング事業の協力企業 ・・・ 株式会社ゴトウ・アズ・プランニング
- (2) ワークホームの設立時は、株式会社MAO(オノエクリーニング51%、ゴトウ・アズ・プランニング49%出資の合弁会社)が協力企業であったが、平成22年にゴトウ・アズ・プランニングがオノエクリーニングの出資分を買い取り、協力会社はMAOからゴトウ・アズ・プランニングに変更となった。

#### 《 ゴトウ・アズ・プランニングとの話し合いについて 》

平成30年度は、前年度から引き続き、安杖社長(ゴトウ・アズ・プランニング)と齋藤施設長、三原あかりの家施設長、藤原事務局長による現状の共有化と課題解決に向けた話し合いを計6回持った。

(会議開催日) 第1回 平成30年 5月21日 第2回 平成30年 6月28日

第3回 平成30年 8月30日 第4回 平成30年11月 6日

第5回 平成30年12月26日 第6回 平成31年 3月28日

#### 4 作業環境の継続的改善

- (1) 平成25年度から作業環境の改善に取り組み、ルーファンの設置(2カ所)、排煙窓の新設工事(東西北面)を実施した。
- (2)平成26年度は、シーツロール機の北側面に窓を新設し空気の入れ換えができる環境整備を実施した。
- (3) 平成27年度は、工場周辺のセメント舗装を実施し清掃がしやすい環境を整えたほか、工場内の安全通路の確保や立ち入り禁止区域の設定等、安全確保に重点を置いた環境整備を行った。
- (4) 平成28年度は、9月に駐車場を新たに新設し、仕分け班専用の更衣室を設置、施設内の電灯のLED 化を完了、シーツ班投入機北側上部の窓を新たに増設、西側窓に遮光フィルムを貼る工事を行った。また、北側「松本商会」との賃借契約を3月末で解消した。
- (5) 平成29年度は、工場清掃の効率化を目的に1階南側に引き戸の大型出入口を設けたほか、採光と風通しを目的に工場内汚染区域に大型サッシ2基を設置した。また、医療関連サービスマーク認定に備えて洗濯場と仕上げ場の境界にビニールカーテンを設けるとともに、大型洗濯機の横と準汚染区域内消毒保管庫の横に手洗い場を設置するなど衛生環境の整備を実施した。
- (6) 平成30年度は、仕分け班の作業服をつなぎ服に変更するなど感染症対策を積極的に行った。また、仕分け班作業場に固定式の扇風機を設置し、作業環境の改善を図った。

#### 5 工賃の考え方及び、「業績賞与」について

- (1) 工賃については、「ワークホーム高砂工賃支給要領」に基づいて支給した。基本的な考え方としては、事業にともなう純利益を工賃財源とし、年2回(4月、10月)の工賃見直し評価を実施し、各自の作業能力を評価したうえで時間給に換算し、働いた時間数を掛け合わせて工賃を決める方法を採用した。
- (2) 平成28年度後期から始まった「業績賞与」については、平成30年度においてもゴトウ・アズ・プランニング社から819,919円(対前年比:1.1倍)の業績賞与を支給していただいた。

#### 6 医療関連サービスマーク認定更新について

医療関連サービスマークは平成15年度に初めて認定を受け、以降3年に一度の頻度で更新している。 直近では、平成29年11月14日、更新のため日本病院寝具協会の審査を受け、平成30年2月1日付 で再認定されている。次回の認定は2020年(令和2年)11月予定。

#### 7 就労支援について

クリーニング作業については、設立当初から「シーツ班」「たたみ班」「仕分け班」「タオル班」の4つに 班分けを行い、利用者支援を実施してきた。しかし、平成29年度からは、作業班にこだわらない横断的な 作業方法を取り入れ、利用者が様々な作業に挑戦できるよう環境を整えるなど丁寧な支援に努めた。その結 果、利用者の作業可能種目が増えるとともに、作業効率が大幅にアップした。

こうした取り組みについては、平成30年度においても積極的に実施し、生産性の向上に努めた。

### Ⅳ 健康管理・栄養管理

#### 1 健康管理及び保健衛生等

- (1)「保健衛生会議」を月1回開催し、嘱託医師である井野医師の指導のもと、利用者の健康管理や職場の衛生 管理に努めた。
- (2) 利用者や職員の健康診断を実施し、その結果について井野嘱託医師から指導を受けた。
- (3) 11月からは、グループホームと兼務する専任の看護師を雇用し、その看護師が中心となって利用者の健康管理を行った。
- (4)作業場に温度湿度計を設置し作業環境の把握に努めた。特に夏場は、休憩(30分に1回)や水分補給を 頻繁に行うなど、熱中症対策を重点的に行った。水分補給については、各利用者に水筒(平成28年度から 保護者会より支給)1本をWHで配布し、各自の一日の水分量を職員が把握しながら水分管理を行った。ま た、作業場の気温が30℃を超える5月~10月にかけてスポーツ飲料(ペットボトル1本500ml、本年 度から保護者会から提供)を配付し熱中症対策を行った。
- (5) 肥満の予防を図るため、定期的(2ヶ月に一回)な体重測定によりBMI値を算出した。また、糖尿病の利用者へは、糖尿病食を斡旋するなどの対策をおこなった。
- (6) インフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症対策については、看護師を講師とする学習会を開催し職員の 知識を深めるとともに、対策として施設内での手洗いの励行やうがいを心がけた。また、手ピカジェルでの 消毒や次亜塩素酸ナトリウムを使ってのトイレ清掃等についても昨年度から継続してを行った。
- (7) 井野先生の助言を受け、本年度もトイレ等の手洗い場についてはペーパータオルを使用した。
- (8) 定期的な健康診断と体重測定の実施
  - 定期健康診断の実施(7月、1月(職員のみ))
  - 「体重測定」の実施とBMI値の算出(4月、6月、8月、10月、12月、2月)
- (9) 歯科検診と歯磨き指導

加古川歯科保健センターから派遣される歯科衛生士による歯磨き指導を利用者全員が受け、その結果を 家庭に知らせ、必要な人については歯科治療をお願いした。また歯科衛生士による歯磨き指導を契機とし て、昼食後の歯磨きへの関心を高めることに努めた。本年度についても特に口内の汚れが多かった利用者 については、職員が付き添い歯磨きを徹底的に行った。

- (10) 健康の維持管理については、利用者の年齢が高くなるに連れ「生活習慣病」の予防対策が重要になりつつあり、定期健康診断の結果を踏まえて積極的に受診を促した。また、受診に関して保護者の協力が得られにくい利用者については、職員が通院の支援を行った。
- (11) 利用者へ月1回の手洗い指導を行うとともに、日々の作業終了時や昼食前に手洗いの声かけを行い、利用者の手洗いへの意識向上を図った。
- (12) ゴトウ・アズ・プランニングの職員を含めた全職員を対象に、感染症の基礎と疥癬、MRSA、ノロウイルスの勉強会を行い、感染症に対する知識を深めるとともに感染症予防への意識を高めた。
- (13) グループホーム利用者を中心に月1回の井野病院、歯科への定期通院の支援を行った。また風邪症候群や 皮膚疾患などの出現に対しても病院受診の検討を行い、必要であれば定期外受診の支援を迅速に行った。検 査結果や内服薬などに関しては医師からの情報を正しく支援員に共有し連携を図った。
- (14) 専任の看護師が、週に2回グループホーム利用者に対し入浴支援と身体観察を行い異常の早期発見に努めた。

#### 2 栄養・給食について

《 給食委員会の開催 》

利用者の昼食の充実と安心・安全を目的として、給食提供業者(有限会社ひでかつ給食)と連携し、給食提供を行った。

今年度は給食提供業者との連携を行い、お楽しみメニューの内容を深める取り組みを行った。

なお、平成30年度から引き続き、月・水・金曜日にワークホーム高砂で作る納豆(なっとこちゃん)を 提供した。

### ▼ 利用者支援について

#### 1 利用者支援

- (1) 働くことを軸に、社会性・協調性(仲間意識)を育み、仕事に自信と責任を持てるような支援に取り組んだ。個別支援計画を基本に個々の目標やテーマに添った関わりを大切にした。
- (2)「働くことの基礎は生活にあり」を意識して、睡眠、食事、排せつなどの家庭における生活を見直し、「健康な生活づくり」を保護者と連携しながら取り組んだ。特に、一人暮らしの利用者については、通院付き添いや投薬、血圧・体重などの管理を行うとともに、保護者や本人の要望を受け歯科受診などの付き添いも積極的に行った。
- (3) 個別支援計画の見直しを兼ねた個別懇談会を本人・保護者・施設長(サービス管理責任者)・担当支援員 同席で年2回(6か月に一度)実施した。内容は、作業面や生活面での支援に加え、GH体験利用や余暇 の過ごし方なども盛り込んだ。そのため、GHを体験利用されるケースが増えている。
- (4) 本人や保護者の希望を踏まえて就労を目標に掲げた取り組みを行うとともに、働くことを生活の柱にした 充実した暮らしづくりの応援を積極的に行った。

#### 2 あかりの家との連携

- (1) あかりの家利用者のMさん、友愛の家利用者のYさん、Kさんを積極的に受け入れるとともに、利用者が 混乱なくワークホーム高砂で働けるよう情報の共有に努めるとともに、必要な調整を行った。
- (2) ひょうご発達障害者支援センタークローバーが主催する事業の会場として会議室を貸し出した。

### VI 人権擁護、虐待防止の取り組み

虐待防止については、一日2回の引継ぎ時間を活用し、虐待案件について施設長から講義するなど職員の 意識向上に取り組んだ。また、職員間で話し合える環境、"第三者が見たらどうか"など、対応を責めるので はなく客観的に自分を見る冷静さを常々共感するように心がけた。また、人権擁護については、平成29年 9月1日より、「ワークホーム高砂人権擁護委員会」を発足。同じく「ワークホーム高砂人権擁護委員会要領」 を施行。職員一人ひとりが障害者の人権について考える機会を提供し、人権意識の向上をめざした。今年度 は4月、6月、8月、11月、1月、2月に施設内研修やチェックリストによるセルフチェックを行うなど、 定期的に職員間で話し合う場を設け、自己を見つめ直す取り組みを行った。

### びエ 防災

- 1 危険物管理 地下タンク及び地下埋設配管毎週点検記録表(消防署の指導にもとづき毎月曜日点検実施)
- 2 防火管理 毎月1回、防火管理自主点検表による点検を実施した。
- 3 車両管理 担当者により概ね1か月に1回、点検を実施した。
- 4 セキュリティー 平成30年7月から新たに防犯カメラを敷地内に4箇所設置するとともに、事務所の防犯については継続してセキュリティーシステムを稼働させた。
- 5 防災訓練 平成30年8月、平成31年3月に避難訓練、通報訓練、消火訓練を実施(3月は消防署の立ち合い有り)

### Ⅷ 職員研修(施設外研修)・会議等(主なもの)

月	研 修 名	場所	参 加 者 名
4	播淡地区施設長会・代表者会	姫路	齋藤、桂
	のじぎくスポーツ大会事前会議	神戸	桂
5	兵庫県知的障害者施設協会定期社員総会	神戸	齋藤
	兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会事前説明会	神戸	桂
	兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会	神戸	齋藤、桂
	障害者福祉施設新任職員研修	神戸	宮本(講師)
6	日本セルプセンター研究大会	東京	楠
	防火管理者資格取得講習会	加古川	楠、木澤

	<u> </u>		<del>.</del>
7	全日本自閉症支援者協会総会	東京	齋藤
	全国知的障害者関係施設長会議	東京	齋藤
	播淡地区職員研修会	高砂	齋藤、桂、三輪、岡田
	てんかん基礎講座	大阪	岡田
	行動援護従事者養成研修(主催:五倫会)	姫路	藤本、三輪
8	行動援護従事者養成研修(主催:姫路身障懇)	姫路	西野、松藤、中右、岡田
	播淡地区施設長・職員合同研修会	姫路	齋藤、楠
	障害者の働く場パーワーアップフォーラム	大阪	齋藤、宮本、三輪
	社会福祉法人研修会	高砂	齋藤
9	福祉の集い	神戸	齋藤、木澤
	強度行動障害者養成研修(基礎)	神戸	木澤
10	全日本自閉症支援者協会研究大会	三重	齋藤、楠
	生産活動・就労支援部会研修会	神戸	齋藤
1 1	播淡地区職員研修会	高砂	齋藤、桂、三輪、岡田
	近畿地区知的障害者関係施設長会議	神戸	齋藤
	行動援護従事者研修(主催:パレット)	神戸	桂
	五色精光園祭	淡路	中右、三輪、楠
	障がいのある方にとっての減災 (高砂市)	高砂	藤本
	虐待防止サービス従事者研修(高砂市)	播磨町	宮本、木澤
	保護者・職員研修会(陽気会の施設見学)	神戸	齋藤、楠、西野(保護者会合同)
	ばんたんゆうあい文化祭	姫路	職員全員
12	就労支援フォーラムNIPPON2018	東京	楠、西野
	障害者就労支援研修会	加古川	桂
	グループホーム職員研修会	尼崎	木澤
	播淡地区施設長役員会会議	姫路	齋藤
	強度行動障害者養成研修(実践)	神戸	宮本、木澤
1	賀詞交換会	神戸	齋藤、岡田(保護者;光宗)
2	権利擁護委員会虐待防止研修	神戸	中右、松藤
	播淡地区職員施設長研修会	神戸	齋藤、宮本
	播淡地区施設長役員会議	神戸	齋藤
	兵庫県のじぎくスポーツ大会エントリー説明会	神戸	桂
	全国社会就労センター長研修会	東京	齋藤
	兵庫県知的障害者施設協会支援スッタフ委員会新		
	任職員研修会	神戸	久木原
3	播淡地区者会役員会	姫路	齋藤
	赤穂精華園セミナー	赤穂	桂
	障害者総合支援法等関係事業者説明会	尼崎	齋藤
		-	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

## 区 資格取得等

資格名称	取 得 者 氏 名
強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	木澤 まり子
強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	宮本 翔、木澤まり子
行動援護従事者研修	藤本 真裕、三輪 明子、西野 浩美、松藤 真典
	中右 祐企、岡田 美咲、桂 也人
防火管理者	楠 英充、木澤 まり子

# 🗴 施設サービス評価、苦情解決

1 施設サービス評価 本年度は受診せず

#### 2 サービス苦情解決

年2回の保護者懇談会において保護者からの要望等を積極的に聞くように努めたほか、毎月の保護者会役 員会や保護者会行事に施設長が参加し、保護者の要望等を積極的に聞くように努めている。

食堂には「意見箱」を設置しご本人からの意見を聞けるようにしている。また、平成31年1月に「ワークホーム苦情解決」のルールを設定。以降、苦情や要望については「ワークホーム苦情解決報告書」に記録し、職員間で供覧し、共有するよう努めた。

苦情受付担当者 : 西野浩美

苦情解決責任者 : 今津房子(理事)

第三者委員 : 冨士原 一成(前高砂市社協理事長)、 高尾 剛一(あかりの家 前監事)

### X I 地域支援

#### 1 見学・実習

	事 項		内容
1	施設見学	11月20・21日	曽根小学校(4年生)
		11月13日	東はりま特別支援学校(生徒35名、教員15名)
2	特別支援学校実習	なし	
3	学生社会福祉実習	9月3日 ~7日 1月31日~2月15日	関西福祉大学3回生(2名) 姫路福祉保育専門学校2年生(2名)

#### 2 講師派遣

研 修 名	主 催 者	派 遣 日	派 遣 職 員
障害福祉施設新任職員研修	兵庫県社会福祉研修所	平成30年5月23日	副主任 宮本 翔
行動援護従事者養成研修	NPO 姫路心身障害市民懇話会	平成30年8月7日	施設長 齋藤 克己
行動援護受持者養成研修	NPO 法人パレット	平成30年10月14日	施設長齋藤克己
NPO 法人パレット職員研修会	NPO 法人パレット	平成30年12月15日	施設長齋藤克己
加古川市育成会研修会	加古川市育成会	平成31年2月14日	施設長 齋藤 克己

### X Ⅱ 地域交流

#### 1 人権学習

11月20・21日の2日間にわたり、曽根小学校4年生4学級の児童が今年も人権学習のために当施設を訪れた。2日間4回に分け、付き添いの教諭や児童と利用者との交流や作業体験を行っていただき、より実感のある人権教育の促進に寄与した。

#### 2 機関紙の発行

毎月、保護者通信を「月刊ワークホームだより」として発行し、保護者に配布するとともにホームページで公表した。また、地域の方や関係者にも配布した。(配布先:利用者(保護者含む)、地域の関係者や協力企業、理事・評議員等の関係者)

#### 3 ホームページの更新

ワークホーム高砂のホームページを平成27年度に県立総合リハセンター内の重度障害者在宅就労者の会 e - w o r k に作成を依頼し、「月間ワークホームだより」の発刊の都度、掲載更新した。メンテナンスについては、平成30年7月1日から令和1年6月30日までの期間で再契約した。

### XII 保護者会活動

#### 1 年間活動について

#### (1) 保護者会主催事業

①保護者会総会 ②WH環境整備、工場清掃 ③父親の会 ④クリスマス会(忘年会) ⑤保護者研修会

- ⑥一年を振り返る会 ⑦ 親子レクリエーション行事(バーベキュー大会)
- (2) ワークホーム高砂との共催行事
  - ①保護者参観 ②保護者懇談会
- (3) 本部・企画委員会(役員会)
  - ①毎月1回開催

### 2 年間行事実績

	日程	会議・行事等	内容	参加数
5	5月20日(日)	《保護者会総会》	・平成30年度事業計画、予算の審議と	2 5名
月	10:00~11:30		議決	
	13:00~14:30	〇第 1 回本部·企画委員会	・環境整備行事について など	13名
			・保護者研修会 など	
6	6月17日(日)	《第1回環境整備、工場清掃》	・駐輪場の草引き、工場の清掃	4 5名
月	10:00~11:30		・昼食を摂りながら懇談	
	11:30~12:30 13:00~14:30	第2回本部・企画委員会	- 大ケウェッグ・ナー	108
			・本年度事業の進め方についてなど	12名
7	7月15日(日)	《第2回環境整備、工場清掃》	・駐輪場の草引き、工場の清掃	2 7名
月	10:00~11:30 11:30~12:30	※6 月行事に参加できなかった人   に参加を促した	・昼食を摂りながら懇談	
	13:00~14:30	第3回本部・企画委員会	・親子レク行事について など	1 2名
8	8月26日(日)	第4回本部・企画委員会	・親子レク行事について、父親の会、	12名
月	10:00~12:00		保護者研修会など	1
9	9月 3日(月)	《保護者懇談会(前期)》	〇保護者が WH 職員と利用者の日常につい	4 3名
月	~28日(金)		て話し合うとともに、個別支援計画の	
			確認を行った	
	9月30日(日)	第5回本部・企画委員会	・父親の会、保護者研修会 など	11名
- 10	14:00~16:00	(1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	0-19 4444 1 2 2 1 1 2	
10	10月28日(日)	《父親の会&親子レクリエーシ	・プラダン製作とバーベキュー大会	4 9名
月	9:30~14:00	ョン行事 : バーベキュー大会》 	(ワークホーム駐車場にて二つの行事を 同時に開催)	
	13:00~15:00	第6回本部・企画委員会	・保護者研修会、クリスマス会など	12名
11	11月17日(土)		・神戸市北区にある社会福祉法人陽気会	2 9名
月	,, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		の施設を見学	
	15:30~16:30	   第7回本部・企画委員会	・忘年会 など	1 2名
	10.00 10.00		214 60	
12	12月16日(日)	《クリスマス会(忘年会)》	・ユーアイ帆っとセンターで実施	77名
月	12:00~13:30			
	10:00~12:00	第8回本部・企画委員会	・一年を振り返る会 など	12名
1	1月20日(日)	第9回本部・企画委員会	・一年を振り返る会 など	13名
月	10:00~12:00			
2	2月24日(日)	《一年を振り返る会》	・活動の振り返り、次年度活動の意見交	3 4名
月	10:00~12:00	# 1 0 D + # 1 0 D + # 2	換など	4 4 77
	13:00~15:00	第10回本部・企画委員会	・次年度役員、活動についてなど	14名
	2月 5日 (火)	《保護者参観》 	・クリーニング作業や納豆製造作業を保護者が見営し、成相等を述べまった。	28名
	8日 (金) 11日 (月)		護者が見学し、感想等を述べあった	
	16日(土)			
	2月20日(火)	《保護者懇談会(後期)》	○保護者がWH職員と利用者の日常につい	4 1名
	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	《环境甘心秋本(牧州//	○保護有がWI 職員と利用者の日常に りい   て話し合った	4 1 1
	3月26日(火)		CHI O II 7/C	
<u> </u>				

3	3月10日(日)	第 1 1 回本部·企画委員会	・次年度総会に向けた準備 など	13名
月	10:00~12:00			
4	4月14日(日)	第12回本部・企画委員会	<ul><li>総会の準備 など</li></ul>	13名
月	10:00~12:00			

### XIV 総務関係

1 職員の採用・退職・異動 (平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(1) 採用

・パート職員 支援員補助 1人(平成31年2月18日付)

(2) 退職

・嘱託職員・正規職員・正規職員支援員支援員1人(平成31年2月28日付)・「不成31年3月31日付)・「不成31年3月31日付)

(3) 身分変更

パート職員 → 嘱託職員 支援員 1人(平成31年3月 1日付)

#### 2 職員構成

(2019.3.31現在)(単位:人)

身分•所属	\ 職種	施設長	医 師	支援員	作業 支援員	支援員 補助	事務員	看護師	計
工物 喝到	男	1		5	1				7
正規・嘱託 職員	女			4			1		4
	計	1		9	1		1		11
<b>光</b> 中 映 吕	男					1			1
補助職員(パート)	女					4		1	5
(,,—,,)	計					5		1	6
合	計	1	(1)	9	1	5	1	1	18 (1)

<sup>※ ( )</sup> は嘱託医師 ※2 年度末に退職する職員を含めて記載

### 3 職員年齢構成

(2019.3.31現在)(単位:人)

身分・所属 \ 年代	20歳代	30歳代	4 0歳代	50歳代	60歳代	計
正 規・嘱託 職員	4	3	1	3	1	12
補助職員				4	2	6
合 計	4	3	1	7	3	18

# 2018(H. 30)年度 グループホーム(共同生活援助)事業報告書

## 1 施設の名称、定員(現員)及び所在地

名称	定員(現員)	所在地
希望山荘日笠	7人(6人)	兵庫県高砂市曽根町1704-4
オリーブの家	7人(6人)	兵庫県高砂市阿弥陀町魚橋375-16
友愛の家	6人(6人)	兵庫県高砂市曽根町1704-5

## 2 利用者(入居者)の状況

《希望山荘日笠》

(H. 31. 3. 31現在)

" · I · · · ·	· .— · · -	— "			•	
性別	年齢	療育手帳	障害程度	勤務先、所属等	住所地	契約日(生活ホーム含)
女性	49	Α	区分5	ワークホーム高砂(生活介護)通所	高砂市	H. 6.4.1~
男性	59	Α	区分5	あすなろ学園(生活介護)通所	高砂市	H. 14. 7. 1~
女性	57	Α	区分3	こころね(就労B)通所	高砂市	H. 27. 6. 15~
男性	34	Α	区分4	ワークホーム高砂(就労 B)通所	姫路市	H. 27. 10. 1~
男性	35	Α	区分3	ワークホーム高砂(就労 B)通所	姫路市	H. 27. 10. 1~
女性	38	Α	区分4	ワークホーム高砂(生活介護)通所	姫路市	H. 28. 4. 1~
,, .		- w				

## 《オリーブの家》

性別	年齢	療育手帳	障害程度	勤務先、所属等	住所地	契約日(生活ホーム含)
男性	52	B1	区分5	ワークホーム高砂(生活介護)通所	高砂市	H. 6.4.1~
男性	45	Α	区分6	ワークホーム高砂(生活介護)通所	高砂市	H. 25. 11. 1~
男性	46	Α	区分4	ワークホーム高砂(就労B)通所	高砂市	H. 27. 8. 1~
男性	48	Α	区分6	ワークホーム高砂(生活介護)通所	姫路市	H. 27. 5. 1~
男性	45	Α	区分4	ワークホーム高砂(生活介護)通所	播磨町	H. 28. 9. 1~
男性	34	Α	区分4	ワークホーム高砂(生活介護)通所	姫路市	H. 29. 4. 1~

## 《友愛の家》

性別	年齢	療育手帳	障害程度	勤務先、所属等	住所地	契約日
男性	35	Α	区分5	あかりの家(生活介護)通所	高砂市	H. 29. 4. 1~
男性	33	Α	区分6	あかりの家(生活介護)通所	高砂市	H. 29. 4. 1~
男性	23	Α	区分6	あかりの家(生活介護)通所	高砂市	H. 29. 4. 1~
男性	38	Α	区分5	あかりの家(生活介護)通所	姫路市	H. 29. 8. 1~
男性	48	Α	区分6	あかりの家(生活介護)通所	加古川市	H. 29. 9. 1~
男性	51	Α	区分4	あかりの家(生活介護)通所	播磨町	H. 30. 3. 24~

利用者の平均年齢=42.8 歳

## 3 職員

(H. 30. 4. 1~H. 31. 3. 31)

職種	常勤・非常勤・兼務等	性別	年齢
管理者	あかりの家副施設長兼務	男性	59
サービス管理責任者	管理者兼務		
生活支援員兼世話人	常勤	女性	48
	常勤	男性	31
	常勤	男性	31
	常勤	男性	31
	常勤	女性	31
	常勤	男性	26
	常勤	男性	24
	常勤	女性	23
世話人	非常勤(パート)	女性	58

#### 4 運営について

### (1)グループホームの安定的な運営と安全で安心なホームづくり

重度の自閉症者や知的障害者が地域の中で必要な支援を受けながら安心して暮らせるグループホームとして、安定的な運営を図った。昨年度オープンした友愛の家も利用促進を図り、今年度末で満床となった。また、夜間の安全を守るための「宿直」体制については、あかりの家やワークホーム高砂の協力を得て、法人全体で支える仕組みを継続し、職員間の連携を更に強めながら、支援体制を確保した。

さらに、定期的な生活器具の安全点検や避難訓練を実施する(2018年10月と2019年3月)など、安全で安心なホームづくりに取り組んだ。

### (2)入居者の豊かな暮らしの創造

豊かで広がりのある暮らしづくりのため、入居者の自由時間の充実、特に休日の過ごし方について、 できるだけ多様な過ごし方が体験出来るよう努めるとともに、外出機会などを積極的に設けた。

具体的には、日常的に買物や散歩に出かけたり、春のお花見やクリスマス会などの季節行事を実施するとともに、11月25日には保護者を招いて「手作りベーコンパーティー」を開催した。また、可能な利用者については、移動支援(ヘルパー)を活用した外出も実施した。

### (3)入居者の健康管理の充実

入居者の健康管理の充実を図るため、定期的な医療機関への受診(歯科、耳鼻科、内科など)に加え、成人病予防などを意識した食事の提供、適度な運動の確保などに努めた。

### (4)体験宿泊の継続実施

グループホーム希望山荘日笠とオリーブの家の空き部屋を活用し、地域の在宅障害者が親元を離れて生活体験をする「体験宿泊」を積極的に位置づけ、在宅障害者の地域生活を支援した。ワークホーム高砂の5人の利用者が述べ85日利用した。

#### (5)支援員、世話人の専門性の向上に向けた取り組み

入居者の生活の質の向上や安全で安心な生活づくりのためには、支援員や世話人の専門性の向上が欠かせないことから、職員の資質向上のための研修機会を積極的に設けた。

# 2018 (H.30) 年度

# 地域支援センター あいあむ 事業報告書

2019. 3. 31 現在

### (2018 (H. 30) 年度 地域支援センター あいあむ 実施事業

	事 業 名	事業開始年月日	
1	東播磨臨海地域における相談支援機能強化事業	'06 (H.18). 5.22	2市2町委託事業
2	障害児相談支援事業	' 1 2 (H. 24). 4. 1	高砂市指定
3	計画相談支援事業	' 1 2 (H. 24). 4. 1	高砂市指定
4	指定一般相談支援事業所(地域移行・地域定着)	' 1 3 (H. 25). 4. 1	県指定
5	障害者等相談支援コーディネート事業	' 07 (H. 19). 10. 1	県委託事業
6	高砂市障がい者自立支援協議会運営等事業	' 1 3 (H. 25). 6. 1	高砂市委託事業
7	加古川市障がい者基幹相談支援センター運営に	' 1 7 (H. 29). 9. 1	加古川市社会福祉協
/	かかる技術顧問契約		議会委託事業

地域支援センターあいあむは、今年度も入所施設で培った自閉症療育等の専門性等を"地域に返していく"という方針のもと、ご本人・ご家族が地域で安心して暮らすことが出来るように「相談支援」・「地域づくり・人材育成」の2本柱を中心に、7つの事業を展開し東播磨圏域における地域支援の拠点を目指して活動を行ってきた。

事業の中心である「計画相談支援」については本格実施から7年が経過し、圏域内における達成率は相談員の頑張りによりほぼ100%となっている。しかし、相談支援事業所を取り巻く環境は厳しく事業所を閉鎖するところも出てきている。エリアで相談員が増えない実情と月に数件の計画依頼も重なり、一人の相談員が抱える件数が100名を超え、きめの細かい支援の提供が難しい状況は変わらずある。「量から質へ」の転換が叫ばれる中、夕方や土日しか訪問できない家庭への対応など働き方改革も合わせて検討が必要である。

「相談支援機能強化事業」については、前年度より総数で28件、実人数で5名減少している。これには、計画相談が浸透したことが要因の一つであることが考えられるが、計画相談では対応できない専門的かつ単発で多様な相談を「機能強化事業」が受けていることは、今年度の相談内容を見ても明確である。

また、地域支援づくり・人材育成については圏域コーディネーターとしての活動も周知され、様々な障害における 支援に地域の支援者と一緒に活動を行ってきた。「加古川市障がい者基幹相談支援センター運営にかかる技術顧問契 約」については2年目を迎え、センターの職員等に対するスーパーバイズや啓発研修を行った。高砂市障がい者自立 支援協議会の事務局業務も5年が経過し、東播磨における地域づくりの一翼を担っている。

### |I| 実施事業

#### 1 東播磨臨海地域相談支援事業 (2市2町相談支援事業)

		加古川市	高砂市	播磨町	稲美町	計
		0件(0人)	54件(45人)	16件 (12人)	33件 (21人)	103件 (78人)
	訪問	O件	6件	O件	O件	6件
	来所	0件	44件	15件	24件	83件
相	同行訪問	O件	O件	O件	O件	O件
談	雷話	O件	4件	1件	6件	1 1件
形	メール	O件	O件	0件	O件	O件
態	ケア会議	O件	O件	O件	O件	O件
	関系機関	O件	O件	O件	O件	O件
	その他	O件	O件	O件	3件	3件

- ・06年5月22日から、加古川市・高砂・播磨町・稲美町より委託を受け事業開始
- 週3日。市町庁舎や社協内で2時間窓口相談実施。
- ・各6時間で契約。窓口相談時間外の4時間は「施設待機」時間帯とし訪問・外来相談を実施。
- ・加古川市については29年9月末で基幹相談支援センター開設に伴い終了。

#### 2 障害児相談支援事業 ※終了者等も含む

06年10月1日より事業開始(県指定) その後、制度改正により12年4月1日から高砂市指定により事業開始 計画作成者 **116名**(高砂市72名 加古川市40名 播磨町2名 稲美町1名 姫路市1名)

#### 3 計画相談支援事業 ※終了者等も含む

06年10月1日より事業開始(県指定) その後、制度改正により12年4月1日から高砂市指定により事業開始 計画作成者 **352名** 

(高砂市174名 加古川市95名 播磨町15名 稲美町30名 明石市2名 神戸市8名 姫路市19名 加東市1名
小野市 1名 福崎市 1名 豊岡市1名 名古屋市1名 尼崎市2名 生駒市1名 大津市1名)

- 4 指定一般相談支援事業所 (12年4月1日より県の指定により事業開始)
- (1)地域移行支援 実施者 4名(高砂市2名、播磨町1名、生駒市1名)
- (2) 地域定着支援 実施者 5名 (加古川市3名、高砂市2名)

### 5 **障害者等相談支援コーディネート事業**(県新規事業としてH19.10.1あかりの家に委託)

(1) 市町相談支援事業への後方支援 (困難事例等への対応・助言、情報提供など)

区分	相			
<u>Σ</u> 7	相談支援ケースへの対応等	相談援構等の機・運営	その他	合 計
相談 ① 定相談支援事業所従事者	175	116	78	369
関係 ② 町職員 (障害福祉担当課に限る)	11	37	29	77
③ 記以外の障害者の相談支援関係者	19	46	11	76
④ 保健・福祉関係者(市町職員含む)	22	31	33	86
⑤ 教育関係者(市町職員含む)	5	14	15	34
⑥ 就労働関係者(ハローワーク等行政関係者)	0	0	0	0
⑦ 企業等	0	0	0	0
⑧ 障害福祉サービス事業者等	30	26	62	118
⑨ その他 (ケース会議、刑務所職員など)	30	70	119	219
⑩ 障害者本人	8	6	1	15
⑪ 障害者の家族等	0	0	0	0
合 計	300	346	348	994

(注) 件数・・・助言・指導の対応回数を記載

### (2) 研修会の開催

開催日時・講演会名	開催場所	内 容	参加者数
9/7 チーム支援ネット研修会 フォローアップ研修と共 同開催	加古川総合庁舎 5階会議室	講演『障害平等研修から障害を捉えなおす 〜差別解消法を推進するために〜』 講師: 桜美林大学講師 谷内 孝行 氏	35名、 相談支援事業所、 教育、保健
11/16 チーム支援ネット研修会	加古川総合庁舎 5階会議室	チーム支援ネット相談員連絡会 11 月 『相談支援について』 講師:障害者走行相談支援センターにしのみや 中山 猛 氏	42名 相談支援事業者、 行政、福祉、教育
12/11 東播臨海精神保健協会と チーム支援ネット共催研修	加古川市 総合福祉会館 大ホール	講演『精神障害者がいきいきと暮らせるために支援者ができること』 きること』 講師:日本福祉大学福祉経営学部 青木 聖久 氏	70名 相談支援事業者

- (3) 圏域内及び圏域間の相談支援関係機関、療育係機関の連携のための業務
  - ① 県関係機関、市町、医療機関、就労機関、特別支援学校、施設、事業所などの連携
  - ② 就業・生活支援センター、加古川市立就労支援センターとの連携
  - ③ 現存する各種団体・ネットワーク会議(就労関係・地域生活・相談事業 権利擁護)に参加
  - ④ 3市2町及び圏域における地域自立支援協議会(準備会含む)への参加(年間64回)
  - (5) 東播磨相談事業者チーム支援ネットの運営(研修会、連絡会)
  - ⑥ 東播磨圏域 3 市 2 町自立支援協議会連絡会 (1 回 開催)

# 6 **高砂市障がい者自立支援協議会運営等事業** (高砂市新規事業として13.6.1あかりの家に委託)

- (1)会議活動回数
  - ①全体会1回 ②運営会議2回 ③相談支援専門員による地域課題抽出の会1回
  - (4)高砂コンサルタ 5 回 ⑤こども部会 5 回 ⑥事業所ワーキング 5 回
  - ⑦ くらし部会5回 ⑧ 本人会1回 ⑨ヘルパー事業所連絡会1回 その他1回
  - ⑩事務局会議20回 研修会1回 計 48回

※各会議における案内文の送付、議題表・名簿作成、資料作成、議事録作成、調整、会議の進行など (全体会は除く)

- (2) 高砂市福祉マップ 障害者編 更新作業
- (3) ホームページ管理・更新等
  - ① ホームページチラシ作製
  - ② ホームページ掲載

### 計 40件

各種会議報告 25件(部会10件、全体会・運営会議報告等2件、ワーキング報告3件、 地域課題抽出の会 1件、本人会報告1件、

イベント開催のお知らせ 21件

※参考 ホームページ閲覧数 138,718件/年>

### 7 加古川市障がい者基幹相談支援センター運営にかかる技術顧問契約

(加古川社協新規事業として17.9.1あかりの家に委託)

平成29年10月に開設された加古川市障がい者基幹相談支援センターにおける職員への助言 (SV)、研修講師等を定期的に行う。

- (1) 基幹センター職員 SV **計21回**
- (2) 研修会講師(虐待防止研修、相談支援研修) 計2回

## II 職員研修

### 1 職員研修内容

月	研修内容	研修地	参 加 者
6	〇一般社団法人 兵庫県相談支援ネットワーク平成30年度定期総会	加古川	濵口、川崎、藤田
7	〇相談支援 現任研修	明石市	梶原
9	〇チーム支援ネット研修会『障害平等研修』	加古川市	濵口、川﨑、石井、松原、藤田
			梶原、村田、手納
	〇相談支援 初任者研修	明石市	藤田
11	〇地域包括支援センター ケアマネ研修会	高砂市	濵口、川﨑、藤田、梶原
	〇高砂市自立支援協議会 防災研修会	高砂市	濵口、金鹿、川﨑、藤田、春名
	「障害のある方にとっての減災」		松原
	〇チーム支援ネット研修会「相談支援について」	加古川市	濵口、川﨑、松原、藤田、春
			名、梶原
12	○精神保健支援者研修会「精神障害者がいきいきと暮らせるために支	加古川	濵口、川﨑、石井、松原
	援者ができること」青木聖久氏		春名、手納、梶原
	〇平成30年度障害者就労支援研修会	加古川	濵口、藤田
	〇医療的ケア児等支援者養成研修	姫路市	松原
1	〇医療的ケア児等支援者養成研修	姫路市	松原
	○医療的ケア児等コーディネーター養成研修	姫路市	松原
2	○医療的ケア児等コーディネーター養成研修	姫路市	松原

# Ⅲ 実習受入

# (1) 学生、施設職員等

社会福祉士実習(関西福祉大学)	1件	2人		7日
	1件	2人	延べ	7日

# IV 関係団体等への役員や職員派遣等

県立東はりま特別支援学校 学校評議員会	学校評議員	13.6~	濵口
一般社団法人 兵庫県相談支援ネットワーク	事務局長	13.11~	濵口
東播磨相談事業者チーム支援ネットワーク	主宰者、構成員	08. 5~	濵口、川﨑、石井、 松原、金鹿、梶原、 春名、村田、藤田
加古川雇用(連絡)調整会	委員	07. 11~	濵口
西宮市障害者介護給付費審査会	委員	14. 9~	濵口
兵庫県合理的配慮アドバイザー	委嘱	16. 5~	濵口
社会福祉法人博由社障害者虐待事案検証委員会	委員	17.4~	濵口
兵庫県医療的ケア児支援連携協議会	委員	18. 10~	濵口

# V 地域自立支援協議会への役員や職員派遣等

兵庫県	自立支援協議会	相談支援部会オブザーバー	08. 8~	濵口
東播磨圏域	自立支援協議会	委員	09. 12~	濵口
明石市	地域自立支援協議会	運営会議 メンバー	13. 12~	濵口
		全体会 委員	09. 12~	濵口
加古川市	障がい者自立支援協議会	くらし、こども、しごと	10.5~	濵口
		相談支援ネット、差別解消	18.4 <b>~</b>	濵口
		推進会議 オブザーバー	10. 6~	濱口
播磨町	地域自立支援協議会	くらす部会委員/ォブザーバー	10. 7~	藤田 /濵口
1年/岩山	心以日立又饭励我云	はたらく部会部会長/ォブザーバー	10. 9~	村田/濵口
		全体会オブザーバー	11. 4~	濵口
拉辛叶	地域立立士运协議会	運営会議 メンバー	11. 4~	濵口
稲 <del>美</del> 町 	地域自立支援協議会	くらし部会 防災ワーキング	16.4~	川崎
		全体会構成員/ オブザーバー	08. 2~	坊垣 / 濵口
高砂市	障がい者自立支援協議会	運営会議 委員	10.6~	坊垣 / 濵口
		くらし部会委員/オブザーバー	12.4~	坊垣 / 濵口、
		こども部会委員/オブザーバー	12. 5~	松原 / 濵口
		課題抽出の会、高砂コンサルタ	17. 3~	相談員全員

# VI 講師、発表、寄稿等

兵庫県	相談支援従事者初任者研修	合同講義8/9・10、集合講 演習9/18・19、9/27・28、10/	∕11 • 12	講師 パネラー	濵口
	相談支援従事者現任研修	7/11~13、8/1~3		司会他	
上庄旧占	東播磨圏域フォローアップ研修	9/7、12/11	4 (0.4	=#AT	·=-
	閉症協会 加古川高砂ブロック総会「治療を持ちない。	· · · · · <del>-</del>	4/24	講師	演口
	目立園協議会全体会「自立支援協議会が目指すも 5世会打機会「野会社システィーション・・・		6/20	講師	演口
	所成会研修会「緊急時シミュレーション〜も」	しもの時に困らないために~」	7/5	講師	濵口
	福祉委員研修「身近な相談役として」	5+ la = la .	7/21	講師	演口
	:人 ささゆり会 研修会「障害福祉 <i>の</i>		8/11	講師	演口
	虐待防止研修「一緒に語る明日からの		8/14	講師	演口
	业センター 地域移行研修会「精神障害者の地域移		8/28	GW進行	演口
	が成会研修会「緊急時シミュレーションNO2~		9/3	講師	濵口
	:生委員・児童委員協議会 研修会「-		9/6	講師	濵口
	地域包括支援センター研修会「相談支援専門」		9/21	講師	濵口
	度地域生活援助者養成講座「支援の基	· -	9/25	講師	濵口
加古川市	立加古川公民館家庭教育学級「こん	ばと」 座談会悩み事相談	9/27	講師	川﨑
加古川市	家庭教育学級の会「成年後見制度	で について」	10/5	講師	濵口
みやっこ	会議「Uさんの暮らしから防災を考え	i.る」	10/17	講師	濵口
加古川市	肢体不自由児・者父母の会 研修会「成年後	<b>後見制度について」</b>	10/31	司会進行	濵口
加古川市自	立支援協議会しごと部会事業所意見交換会	「農福連携について」	10/31	パネルCo	濵口
加古川養	護学校PTA研修「災害時を想定して	「私たちにできること」	11/7	講師	濵口
播磨町 育	す成会研修会「緊急時シミュレーションNO3~5	今、播磨町に必要なものは?~」	11/8	講師	濵口
つつじの	家 法人研修会「虐待防止について」		11/10	講師	濵口
播磨町役場	人権教育研修「障害者差別解消法の施行から2年	7ヶ月~あなたの配慮は大丈夫?~」	11/14	講師	濵口
高砂市地	域包括支援センター研修会「障害福祉	Ŀサービスについて」	11/21	講師	濵口
福祉講演	会 「生きる」を考える		11/30	講師	濵口
稲美町地	域包括支援センター研修会「総合支援	<b>髪法のサービスについて」</b>	12/19	講師	濵口
稲美町障	害者自立支援協議会「自立支援協議会	きとは」	12/21	講師·進行	濵口
加古川市	家庭教育学級「もしもの時にシミュレ	/一ション]	1/18	講師	濵口
	園教育研修会「親と子のコミュニケーシ	_	1/23	講師	濵口
	地域ケア会議 連絡会「"協働""連携"		1/29	パネルCo	濵口
	育成会 研修会「子どもたちの未来の暮		2/14	講師	濵口
	教育委員会 就学サポート会議「播磨町		2/22	講師	濵口
播磨町	自立支援協議会 全体会「地域生活支援		2/27	講師	濵口
	協 在宅支援者職員研修「障害のある方		3/7	講師	濵口
			3/8	GW·講師	濵口
-	民後見人講座「障害のある方の理解と		3/12	講師	濵口
	なぐ研修「つなぐを一緒に体感しよう		3/12	GW·講師	演口 川﨑
並於北中電火士・十		- 支奨者が日指すべき担占 :	3/13	パネルCO	演口
	を まもる部会「地域生活支援拠点と基幹ー		3/18	講師	演口 演口
			•	神印 パネルCO	
高砂市	障害者虐待防止対策研修「虐待防止も	ニング「VJ介IJ川に、JV・C」	3/19	/ MYNCO	濵口

# 平成30年度 ひょうご発達障害者支援センター 事業報告

平成 31 年 3 月 31 日

### I 県レベル的活動

### 1 重点的取り組みに対する総括

### (1) 発達障害支援体制の充実に向けた取り組み

## ①家族支援の充実

a 家庭療育支援講座の全県への実施の定着

研修会を実施、「発達障害実務者養成講座」内での周知を行い、県内 12 所での実施支援を行った。 また、これまでの実施支援を行った機関も含め、県内 15 機関で実施している。

b ペアレントメンター事業の展開 相談会、研修会の実施と事務局としての動き

ペアレントメンター事業は、県自閉症協会との共催での講演会の実施、発達障害実務者研修会での講演を行った。また、登録メンターに対し、活動状況の報告をお願いし、現状の確認を行う、また、関係機関からの派遣依頼の調整なども行い活動を広げた。

c ひきこもり家族支援プログラム(CRAFT)啓発

ひきこもり家族支援プログラム(CRAFT)の実施は、クローバー内での実施を通し、プログラムの効果検証を行い他機関にどのように周知を行うか検討を行った。

#### ②直接支援機関への支援

a コンサルテーション事業の充実 周知の徹底と積極的な実施

市町窓口研修をはじめとする関係機関への研修やホームページで周知を行い、全県で354件のコンサルテーションを実施した。前年度比で100件増であった。

b ストレスマネジメント講座の普及

就労移行支援事業所での試行を行い、支援機関での実施に有意義であるか検証を行った。また、「発達障害実務者養成講座」の中で内容の説明を行った。次年度は試行の結果をもとに、支援機関への普及を行い、講座を広めていきたい。

c 市町窓口相談担当者への研修 全県での研修の実施

6月6日に全県の市町発達障害窓口担当職員に向けた研修会を行った。発達障害の基本的な内容、相談表を使ったアセスメントの視点、クローバーの紹介等を話した。周知期間が短かったこともあり、23名の参加であったため、次年度は早期の周知と初心者向けの内容にし、参加しやすい内容で実施したい。

d 支援者研修の実施「発達障害実務者養成講座」の実施

昨年度まで実施してきた発達障害サポーター養成講座の内容で有意義な内容を継承して実施した。講義だけでなく、ワークも入れて、より実践的な内容を意識し行った児童期32名、成人期29名が全日程を修了した。

e 発達障害サポーター養成講座フォローアップ研修の実施

昨年度まで行った発達障害サポーター養成講座の受講生を対象にフォローアップ講座を実施した。アンケートで多かった、教育制度と労働制度の話と事例検討を行った。研修受講生が実践の場で取り組まれていることを報告された。

### ③兵庫県における発達障害支援体制構築に向けた取り組みへの参画

a 兵庫県発達障害支援協議会(生活支援部会、医療部会、教育部会)への参画、提言 会議に参画し、実際の支援の中から見られる課題や支援の提言を行った。生活支援部会では強度行動障害 のある人の支援について検討し、新事業の創設につながった。

b かかりつけ医対応力研修への参画

県で実施した、かかりつけ医対応力研修に事務局として参加した。

# 2 事業実施状況

# (1) 普及啓発•研修

# ①研修 (実 6 回 延 11 回、延参加者数 458 人)

〈参考:研修会詳細〉()内は共催機関名【】実施会場

日付	:     研修会詳細〉()   内は共催/   研修会名	内容	参加
H 1 1	WIND A	1 24	者数
		講義「相談の流れ・医療情報、クローバーについて」	23
		講義「発達障害に関する基本的理解」	
市町発達障害相談支援窓 6.6 口担当者向け研修会	十四次法阵安扣张士拉索	講義「面談の留意点」	
		相談表を用いたアセスメント・演習	
		講義「家族支援」	
	【神戸市教育会館】	講義「機関支援」	
		圏域ごとに分かれて情報交換	
		ひょうご発達障害者支援センター ブランチ職員	
		講義「家庭療育支援講座(ペアレントトレーニング)概要説明」	59
		ひょうご発達障害者支援センター 主任相談支援員 橋本美恵	
	家庭療育支援講座研修会	講義「講座の役割と理論」	
6.15		奈良教育大学 特別支援教育研究センター 式部陽子 氏	
6.13	交流センター】	演習 「グループワークのすすめ方」、「講義のポイント」	
	父初にピンター】	説明 「実施にあたって〜運営等の説明〜」	
		ひょうご発達障害者支援センター 橋本美恵	
		意見交換 実施の報告と感想	
		1日目	全日程
		講義「子どもの発達とことば」	修了者
		大阪人間科学大学名誉教授•精神科医 服部祥子 氏	32
		講義「アセスメント-子どもの姿」	
		ひょうご発達障害者支援センター 橋本美恵	1月目
		ワーク「子どもの姿シートから 困った行動を考える」	35
		ひょうご発達障害者支援センターセンター スタッフ	2~ $              $
		2日目	33
		講義「子どもの理解と関わり」	3 月 目
		ひょうご発達障害者支援センター 橋本美恵	33
		ワーク「シートから関わりの工夫と配慮を考える」	4 日目
9.22	発達障害実務者養成講座	ひょうご発達障害者支援センターセンター ブランチ スタッフ	32
10.20	児童期	講義「個別支援計画とは」	
11.23	(兵庫県)	西神戸高等特別支援学校 教諭 松井恵子 氏	
12.8	【中央労働センター】	3月目	
		講義 「子どもの育ちを支える家族への支援」	
		立正大学 心理学部 臨床心理学科 名誉教授 中田洋二郎 氏	
		講義「家庭療育支援講座について」	
		ひょうご発達障害者支援センター 橋本美恵	
		講義「発達障害のこどもの育ちと支援~家族の視点から~」	
		ペアレントメンター	
		4月目	
		講義「こども達を支援するために〜小児科医からお願いしたいこと〜」	
		姫路市立総合福祉通園センター 医師 小寺澤 敬子 氏	
		講義「個別支援計画 2」	
		西神戸高等特別支援学校 教諭 松井恵子 氏	

		講義 「子どもの育ちを支える家族への支援」	23
11.23	支援者向け公開講座	立正大学 心理学部 臨床心理学科 教授 中田洋二郎 氏	
		講義「ペアレントメンター(保護者)の経験談」 ペアレントメンター	
		基調講演:	121
		「『気になる子』とともに育つ保育	
		一人ひとりが主人公になれるクラスを目指して」	
	幼児期支援者研修会	こども教育宝仙大学こども教育学部 准教授 守 巧 氏	
	(	実践報告:	
1.26	センター)	「みんなで考えよう!学ぼう!クラスづくり ~ 事例を通して ~」	
1.20	【姫路市総合福祉	①保育所の取り組み ②幼稚園の取り組み	
	通園センター】	姫路市立花田保育所 保育士 桒田芳宏 氏	
		稲美町立天満幼稚園 教諭 倉光祥子 氏	
		アドバイザー: 守 巧 氏	
		進行:ひょうご発達障害者支援センター橋本 美恵	
		ディスカッションと助言 守 巧 氏	A 13.47
	1日目	全日程	
		講義「発達障害と精神疾患―鑑別の困難さと対応―」	修了者
		揖保川病院 副院長 中井祥博 氏	29
		講義「発達障害の心理アセスメント―心理検査を用いて―」	1 11 11
		演習「アセスメントのためのフォーマットの練習」 ひょうご発達障害者支援センター 相談支援員 山内雅樹	1日目
		ひよう。光達障害有又抜ビンケー 相談又振真 山内が抵倒 2日目	36   2 日 目
		2 ロロ     講義「成人期の支援と状況   ひょうご発達障害者支援センター 和田康	32
		宏	3日目
		〜   講義「就労支援―相談、評価、ジョブマッチング、定着支援について―」	31
H31	発達障害実務者養成講座	INVA SECULAR INTERCED SECULAR INTERCED SECULAR INTERCED SECULAR INTERCED SECURITION SECURITION SECURITION SECURITION SECURITION SECURITION SECURIT	
1.14	成人期	兵庫障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 新谷正樹 氏	
2.15	(兵庫県)	講義 演習「支援方法 ストレスマネジメント」	
3.8	【中央労働センター】	「支援方法 問題解決」	
		「支援方法 対人スキル支援」	
		兵庫教育大学 特別支援教育専攻・障害科学コース 教授 井澤信三 氏	
		3日目	
		講義「ストレスマネジメント講座について」	
		ひょうご発達障害者支援センター 山内雅樹	
		講義「グループワークの進め方」、グループワーク「5分レポートの演習」	
		講義「ケース検討会議の進め方」,グループワーク「ケース検討会議の演習	
		講評•質疑応答•意見交換	
		大正大学 心理社会学部 臨床心理学科教授 近藤直司 氏	

# ②講師派遣(県レベル機関の研修会、就労支援に関する講師派遣など)

(延 26 件 延参加者数 1259 人)

# 【労働】

日付	研修会名•内容•講義名	参加者数	職員名	圏域
5.10	兵庫労働局「発達障害の疑いのある人への支援」 28		和田	神戸
5.11	兵庫労働局「発達障害の疑いのある人への支援」	15	和田	神戸
10.12	アンパンマンミュージアム 職員研修「発達障害の理解と支援」	40	和田	神戸
10.17	兵庫県警 職員研修「発達障害の理解と支援」	70	和田	神戸
10.18	兵庫県警 職員研修「発達障害の理解と支援」	90	和田	神戸
11.21	阪神地域障害者雇用促進セミナー「発達障害のある方の就労について」	110	和田	阪神南

# 【保育】

日付	研修会名·内容·講義名	参加者数	職員名	圏域
6.29	太子町ペアレントトレーニング保育現場研修会「かかわり方演習」	19	橋本	西播磨
7.20	太子町ペアレントトレーニング保育現場研修会「グループワーク」	19	橋本	西播磨
8.17	太子町ペアレントトレーニング保育現場研修会「理解とかかわり」	25	橋本	西播磨
9.14	太子町ペアレントトレーニング保育現場研修会「食事とその取り組み」	30	橋本	西播磨
9.28	太子町ペアレントトレーニング保育現場研修会「家庭療育支援講座」	25	橋本	西播磨
10.26	太子町ペアレントトレーニング保育現場研修会「事例報告 療育について」	25	橋本	西播磨

# 【福祉】

日付	研修会名·内容·講義名	参加者数	職員名	圏域
6.21	国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害者支援センター 職員研修「相談支援の留意点 I 」ファシリテーター	40	和田	県外
6.22	国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害者支援センター 職員研修「発達障害者支援センターにおける機関連携の基本」	40	和田	県外
8.8	しんしょうこんケアステーション 行動援護支援者研修会 「コミュニケーションの難しい人の支援」	11	和田	中播磨
9.6	真砂園職員研修会「発達障害のある人の支援」	22	和田	中播磨
10.23	全日本自閉症者支援者協会 全国大会 分科会 「自閉症者の地域社会での暮らしとその支援」指定討論	73	和田	県外
11.3	NPO法人 ぱれっと 行動援護支援者研修 「コミュニケーションの難しい人の支援」	26	和田	神戸
12.17	強度行動障害養成研修 実務者研修 「障害特性に基づくアセスメント」	140	和田	神戸
12.18	強度行動障害養成研修 実務者研修「ファシリテーター」	140	和田	神戸
H31.2.8	ひまわりの森保護者会・職員研修会 「発達障害、知的障害の理解 子離れする力としよう」	50	橋本	但馬

# 【教育】

日付	研修会名·内容·講義名	参加者数	職員名	圏域
8.22	県特別支援学校教頭会 研修会	OF.	和田	神戸
8,22	「発達障害のある人の青年期以降の課題と対応」	25	不中四	什厂
0.17	県特別支援教育センターインクルーシブ教育システム構築研修「系統的な	107	∓n III	神戸
8.17	就労支援講座 発達障害のある人の就労支援の現状と課題」	107	和田	仲尸
10.10	県立学校事務職員夏季研修会	90	山内	北播磨
10.19	「発達障害を知る 仕事に生かすコミュニケーションスキルⅡ」	29	ШЫ	11111112111111111111111111111111111111

# 【家族】

日付	研修会名·内容·講義名	参加者数	職員名	圏域
12.9	ピュアコスモ 高機能自閉症スペクトラム当事者とその保護者の ための連続講座「働く」にむけての岐路「障害の開示/非開示、 自己理解など」	25	和田	神戸

# 【その他】

日付	研修会名•内容•講義名	参加者数	職員名	圏域
H31.1.18	ニートひきこもり支援研修会 「発達障害 グレーゾーンの人への支援」	35	和田	神戸

# ③新聞掲載

# 内容

幼児期支援者研修会「保育士対象に研修 幼児の発達障害 接し方を考える」 H30 12.31 神戸新聞 朝刊 姫路版

## ④研究発表、論文、分担執筆等

内容	担当
あかりの家 事例研究会「ひょうご発達障害者支援センター 実践事例集」	橋本、杉原、山内

### ⑤ホームページの運営、管理

内容	概要(件数、内容他)
ホームページリニューアル	全面リニューアル スマートフォンにも対応できるようにする 12月に開設
更新回数	22回(研修会情報等)

## 3 調査・研究

・触法行為や他害行為が見られる事例に対する支援実態調査: クローバー内での既相談事例から、触法行為、他害行為が現れている事例の実態把握を行った。

# 4 機関連携

# (1)運営・連絡協議会の実施 実施回数(延4回)

<u> </u>	-				
協議会名	回数	日時	場所	内容	参加者
加展五石	四级	I ?	900171	1 1/D.	数
	第1回	CIOF	県民会館	・前回議事録承認 ・H29年度 事業報告	10 団体
運営	舟 1 凹	6/25	<b></b>	・H29年度研修会会計報告	30名
協議会	第2回	H31	県民会館	・前回議事録承認 ・H31年度 事業計画について	10 団体
	弗 2 凹	3/11	<b></b>	の意見・次年度からの協議会の持ち方について	27名
	第1回	6/25/	県民会館	・H29年度 事業報告	21 団体
`击⁄⁄⁄⁄	舟 1 凹	6/25/	<b></b>	・討議「成人期支援の課題年金」	40名
連絡協議会		1190		・H31 年度 事業計画・討議「成人期相談につい	17 田休
协武云	第2回	H30	県民会館	て」	17 団体
		3/5		・行政機関による H30 年度 事業計画	34名

## (2)ネットワーク会議等への出席 実施回数 (延27件)

主な会議名	役割	担当
厚生労働省 発達障害の情報提供等事業に関する運営会議	委員	和田
発達障害者支援センター 全国連絡協議会 役員会	副会長	和田
兵庫県発達障害者支援協議会	委員	和田
発達障害者支援協議会 生活支援部会	委員	和田
発達障害者支援協議会 医療部会	委員	和田
発達障害者支援協議会 教育部会	委員	和田
障害者雇用・就業支援ネットワーク会議	委員	和田
発達障害者等就労支援連絡協議会	委員	和田
ひょうごユースケアネット推進会議 代表者会議	委員	和田
ひょうごユースケアネット推進会議 実務者会議	委員	杉原
障害者自立支援協議会相談支援部会	委員	和田
広域特別支援教育連携協議会	委員	和田
特別支援教育就労移行推進協議会	委員	和田

# (3)ブランチ業務調整会議 (年9回 兵庫県障害福祉課 参加)

・センター各ブランチ間の業務上の調整、意見集約、関係機関情報の集約、活動に対する意見交換等を行う

# 5 県委託事業

事業名	内容
発達障害実務者養成講座	発達障害実務者養成講座(児童期、成人期)の実施

### Ⅱ ブランチ的機能(担当圏域:東播磨、淡路)

### 1 重点的取り組みに対する総括

### (1)市町での相談体制充実への取り組み

東播磨圏域 市町相談窓口担当者と相談者の支援を一緒に行うことで、聞き取りのポイントなどを伝え、支援 力の向上を図っていった。また、全県で行った市町窓口研修とは別に、加古川市では窓口担当者に発達障害について、支援方法等の研修会を行った。

淡路圏域 月2回巡回相談を通して、相談支援員と調整、同席、訪問による相談を行った。

### (2)コンサルテーション、講師派遣を通して支援機関の支援力向上

コンサルテーションは、保育園 幼稚園を中心に26件実施した。また、講師派遣も福祉機関を中心に19件実施した。講師派遣では、より具体的内容を求められることが増えており、実際の支援に結びつく講義を行った。

### (3)ストレスマネジメント講座、CRAFTプログラムの実施

相談者の中から対象者を選び実施した。ストレスマネジメント講座、CRAFT ともに2名ずつ実施し、アンケートからは好評だった。次年度も継続して行うことと、ストレスマネジメント講座については、支援機関への実施支援を

行った。

# 2 個別支援

### (1)相談・発達・就労支援状況

①相談支援 (実 334 人 、延 1,457 件)

前年度に比べ、実人数が 40 人減少している。一方、延べ件数はほぼ増減がないので、一人あたりの相談件数が増えていることが考えられる。年連別の割合は、成人期と 16 歳~18 歳が増加しており、幼児期、中学生が微減であった。

幼児期では診断前後の相談が多く、日々の育てにくさを感じどのように関わればよいか、進路や学校への準備をどうするか、 将来どうなっていくのかという内容が多かった。小学生では、支援学級在籍だが、中学では通常級に在籍し高校進学を目指す ためにどのようにしていったらよいかという相談が多く見られた。中学生は学校生活、学習面等の相談が多く、クローバーでの 相談後に個別調整会議を行う事例が見られた。高校生になると、いじめの問題が多く見られた。また、診断、告知がテーマにな ることもあった。当事者を支える家族の難しさが著しい事例もあり、保護者が障害診断を受けたり、継父継母の子どもの障害理 解がテーマに

なった。成人期の相談は、就労しているもしくは就労経験があるが働き方がうまくいかず離職をしていて、自身が発達障害かも しれないとの思いを持ち相談に来られる事例が見られた。継続相談になっている事例はひきこもり状態の事例で、家族の関わ り方への助言を行うことが多かった。

家庭基盤が弱い家族の相談が見られ、対応方法を伝えるだけでは難しく、関係機関との支援の調整を行う。義務教育終了 以降では、非行、触法事例等、支援ニーズが高い事例も多く見られた。

#### ②発達支援 (実 63 人、延 295 件)

前年度より実人数、述べ件数共に減少している。

幼児、学齢期の児童に対して、個別に課題を通して子どもへの関わりを保護者同席のもと指導助言した。また、発達支援を行っている保護者を対象にした勉強会を月1回行い、子どもの理解を深め、お互いの関わりを話し合い、大人になっていくことの視点を持って学びを深め、実際の生活と子育ての中で活かせるようにした。先輩の保護者の話を聞く機会を設けたり、互いの意見交換の場となり、保護者の気持ちの変化は大きく、子育てへの姿勢が変化した人が多かった。また、所属機関への連絡

調整を積極的に図り、本人の見立てをお伝えし理解の一助となるようにした。

小学生高学年以降の事例では、子どもの理解を深め、支援を考えるために心理検査を実施した。高校生では一般校に所属する子どもの保護者対象のグループを行った。そのうち、卒業後は進学する子ども達の保護者グループと、卒業後に福祉サービス利用を検討する保護者グループを分けて実施した。前者は、年齢に応じた子どもとのかかわり方がテーマになり、後者は、福祉

サービスの情報を得る機会になり、両者ともよい機会になったと感想をいただいている。

成人期の事例では、相談者の中から必要と思われる人に対し、ストレスマネジメント講座、クローバーCRAFT プログラムを実施した。また、進路を考える上で自身を理解することを目的に発達検査を実施した。

#### ③就労支援(実 54 人 延 221 件)

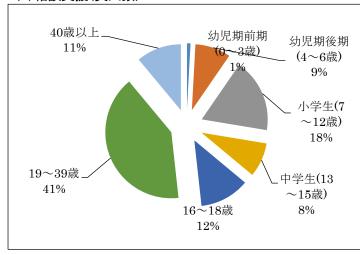
前年度に比べ実人数 述べ件数ともに増加している。既就職者への定着就労にための相談が多かった。

障害開示をしている事例では、就労移行支援事業所担当者と会社への訪問を行うなどの支援を行った。 障害非開示の事例では、定期的に来所してもらい、会社で困ることを聞き、対応方法を一緒に考えることを行った。

就路を目指す人への支援は、面接練習や履歴書の書き方指導なども実施した。

### (参考データ)

#### (a)相談支援(実人数)



#### (b)発達支援(実人数)

	人数	%
幼児期前期(0~3歳)	0	0
幼児期後期(4~6歳)	17	27
小学生(7~12 歳)	15	24
中学生(13~15歳)	4	6
16~18 歳	14	22
19~39 歳	9	14
40 歳以上	4	6
不明	0	0
合計	63	100

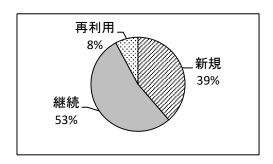
#### (c)就労支援(実人数)

18 歳以下	1
19~39 歳	38
40 歳以上	15
合計	54

# (d)ライフステージごとの障害種別(相談支援実人数)

障害種別	幼児期前期	幼児期	小学生	中学生	16~18 歳	19~39 歳	40 歳	合計
	(0~3 歳)	後期	(7 <sup>~</sup> 12 歳)	(13 <sup>~</sup> 15 歳)			以上	
		(4~6歳)						
自閉症(知的障害の有無不明)	0	5	0	1	1	3	0	10
自閉症(知的障害を伴う者)	0	10	9	4	5	10	0	38
自閉症(知的障害を伴わない者)	0	1	4	1	2	5	0	13
アスペルガー症候群	0	0	4	5	4	13	7	33
広汎性発達障害								
(知的障害の有無不明)	0	2	7	5	4	15	4	37
広汎性発達障害								
(知的障害を伴う者)	0	1	6	2	1	12	1	23
広汎性発達障害								
(知的障害を伴わない者)	0	1	5	1	7	16	5	35
AD/HD	0	0	6	4	3	7	1	21
LD	0	0	0	0	0	4	0	4
その他								
(発達性言語障害・協調運動性障害)	0	3	1	1	3	10	4	22
不明(未診断も含む)	3	7	20	5	12	45	16	108
合計	3	30	62	29	42	140	38	344
「不明(未診断も含む)」割合	100%	23%	32%	17%	29%	32%	42%	31%

# (e)新規・継続・再利用の内訳(相談支援 実人数)



# (f)年齢ごとの相談主訴

	幼児期	小学校	中•高校	19 歳
	(0~6歳)	(7~12歳)	生	以上
相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい	4	3	2	10
現在の生活に関することや、家庭で家族ができることを知りたい	27	43	46	78
利用できる制度について知りたい(手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど)	2	2	0	7
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	2	0	3	18
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	7	30	30	37
進路や将来の生活に関する相談をしたい	8	5	18	25
対応困難な状況の改善について相談したい(強度行動障害、ひきこもりなど)	1	8	6	17
今後の就労について相談したい	0	0	0	13
現在勤めている職場に関する相談をしたい	0	0	0	16
その他	3	5	5	12
計	54	96	110	233

## (2)普及啓発•研修

## ①研修

○実施回数(実 1 回 延 1 回 参加者数 13 人)

〈参考:研修会詳細〉()内は共催機関名【】実施会場

研修会名	内容	参加人数
ペアレントメンター講演会		11
(兵庫県自閉症協会、	「共に悩み共に学ぶ子どもとのであい」	
こども発達支援センター)	ペアレントメンター	
【こども発達支援センター】		

## ②講師派遣

○実施回数(延 19 件 延参加人数 503 人)

## 【福祉】

日付	研修会名·内容·講義名	参加者数	職員名	圏域
5.31	みどり丘こども園「アセスメント」	13	橋本	東播磨
6.21	みどり丘子ども園「グループワーク」	12	橋本	東播磨
8.2	みどり丘こども園「子どもの行動の理解と関わり」	15	橋本	東播磨
8.3	清水が丘学園 公開セミナー「子どもを支えるための地域支援 ~学校と 相談機関のよりよい連携について~」	55	和田	東播磨
9.15	みどり丘こども園 「食事と実際の取り組み」	36	橋本	東播磨
10.12	播磨町学童保育研修会 「事例検討」	25	橋本	東播磨
10.13	みどり丘こども園 「学ぶ力をつける療育」	35	橋本	東播磨
11.13	加古川市障がい者基幹相談支援センター 研修会「発達障害について」	6	橋本	東播磨
11.24	みどり丘こども園「検査、手帳、制度について」	30	橋本	東播磨
1.17	加古川市自立支援協議会 こども部会「サポートファイル」	10	橋本	東播磨
1.31	播磨町学童保育研修会「発達障害の理解」	17	橋本	東播磨
2.22	淡路市学童保育「淡路市学童保育研修会」	50	橋本	淡路
3.15	みどり丘こども園「サポートブック」	25	橋本	東播磨

# 【教育】

日イ	付	研修会名•内容•講義名	参加者数	職員名	圏域
12.	19	播磨町特別支援研修会 「子どもとやってみませんか読み書き数の第1歩」	31	橋本	東播磨

## 【家族】

日付	研修会名·内容·講義名	参加者数	職員名	圏域
10.1	播磨西幼稚園 保護者会 「子どもの気持ちになってやってみませんか~就学の準備と関わりのコツ」	80	橋本	東播磨
11.24	淡路わたぼうし「サポートブックを知ろう」	10	橋本	淡路
1.18	淡路わたぼうし「心を育てる療育」	21	橋本	淡路

# 【一般】

日付	研修会名·内容·講義名	参加者数	職員名	圏域
4.26	NPO 法人アエソン「トイレトレーニングどうすればうまくいく」	15	橋本	東播磨
7.12	NPO 法人アエソン「食事偏食や食べ方の工夫」	17	橋本	東播磨

# ③機関コンサルテーション

(a) 関係機関へのコンサルテーション 実施回数 (実 16 か所 延26件)

職員の対応方法や環境整備に関する助言・指導を訪問により実施。

実施対象機関		圏域	日程	担当
加古川市	氷丘保育園		6.18	橋本
高砂市	荒井小学校学童保育		9.13	橋本
播磨町	播磨西小学校学童保育		9.27	橋本
	播磨西幼稚園		5.17, 9.27, H31.2.28	橋本
	播磨幼稚園		6.8, 10.11, 11.1	橋本
	播磨保育園		H31.1.7	橋本
	蓮池幼稚園		9.13, 11.29	橋本
	蓮池保育園		H31.1.7	橋本
稲美町	天満小学校		7.9	橋本
	母里幼稚園		6.26	橋本
	天満幼稚園		6.4, 12.5	橋本
天満東幼稚園 バンビ第2保育園 加古保育園 稲美町児童館	天満東幼稚園		11.22	橋本
	バンビ第2保育園		7.5	橋本
	加古保育園		7.5	橋本
		7.19, 7.26, 12.20	橋本	
赤穂市	あしたば園	西播磨	10.4, 10.23, 11.13	橋本

# (b)家庭療育支援講座 実施回数(実 2か所 延 16 件)

講座実施に当たり、保健師等のスタッフへの技術付与を訪問により実施

実施対象機関	圏域	日程	担当
高砂市健康増進課、	東播磨	0.11 10.16 10.90 19.4 11.90 19.11 1191.1.10 1191.9 5	橋本
高砂児童学園	来	9.11, 10.16, 10.30, 12.4, 11.20, 12.11, H31.1.18 H31.2.5	山内
赤穂市保健センター	西播磨	8.3, 8.23, 9.6, 9.20, 10.41, 10.25, 10.18, H31.1.30	橋本

## (3)機関連携

①発達障害者支援体制の整備及び機関連携のためのネットワーク会議等への出席

実施回数(延 19 件)

	会議名	役割	担当
兵庫県	播磨東地域特別支援教育連携協議会	委員	和田
加古川市	障害者雇用連絡会議	委員	和田
	障害者自立支援協議会 こども部会	委員	橋本
高砂市	地域自立支援ネットワーク会議	委員	和田
	教育委員会	専門家チーム委員	橋本
稲美町	就学サポート会議	委員	橋本

## ②個別調整会議 実施回数(延49件)

前年比で 18 件増になっている。成人期の相談者の会議が多いが、中学生の回数が増加している。一人の相談者に対し多くの機関が関わることが増えており、個別調整会議の増加が今後も考えられる。

# ③付置施設 あかりの家との連携

	内容		
児童ディ			
サービス	・継続的な専門的療育を行うことが有用と思われる事例 (自閉症、軽度知的障害)		
あかりの家			
障害者支援施設			
あかりの家	・福祉サー ビスの利用が必要な事例について、相談支援専門員と連携をした事例が多数		
地域性ンセンター	・サービス等利用計画の作成において連携した事例		
あいあむ			

# Ⅲ 職員体制

1 相談時間 (月)~(金)の平日 9:00~17:00

# 2 担当

① センター長	就労支援 担当	和田 康宏
② 主任相談支援員	発達支援 担当	橋本 美恵
③ 相談支援員	発達支援 担当	杉原 利恵
④ 相談支援員	相談支援 担当	山内 雅樹

管理責任者 坊垣 勝彦(あかりの家 副施設長 兼務)

# 3 職員研修

研修名	日付	受講者
発達障害者支援センター 全国連絡協議会 研修会	6.11~6.12	和田
発達障害包括医学研修	10.4~10.5	山内
かかりつけ医対応力研修	8.30、10.25	和田、山内
全連協 近畿ブロック研修会	12.15	和田、山内

# 4 職員の資格・免許取得状況(含、任用資格、受講証明)

資格•免許	人	資格•免許	人
公認心理士	2	臨床発達心理士	1
臨床心理士	2	教諭	3
特別支援教育士	1	保育士	1
社会福祉主事	1	WAIS-Ⅲ知能検査研修受講	1
新版 K 式発達検査中級研修修了	1		